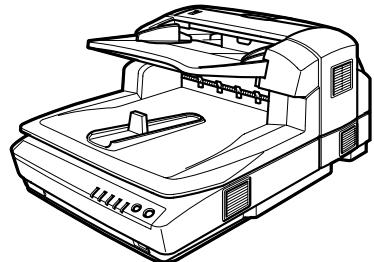




IS760D



使用説明書



- 1 本機について**
- 2 設置する**
- 3 ソフトウェアをインストールする**
- 4 原稿のセットのしかた**
- 5 TWAIN ドライバーを使う**
- 6 付録**



はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載しております。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー



複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1. 複製、印刷することが禁止されているもの

(見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)

- 紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- 日本や外国の郵便切手、印紙

◆(関係法律)

- 紙幣類似証券取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- (刑法 第148条 第162条)

2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- 外国の紙幣、貨幣、銀行券
- 株券、手形、小切手などの有価証券
- 国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- 個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

◆(関係法律)

- 刑法 第149条 第155条 第159条 第162条
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3. 著作権法で保護されているもの

- 著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

目次

安全上のご注意.....	2
表示について	2
表示の例	2
使用上のお願い	5
エネルギーースタープログラム	6
説明書の紹介	7
冊子で提供される説明書	7
PDF形式で提供される説明書	7
この本の読みかた	8
マークについて	8

1. 本機について

各部の名称	9
インジケーターの見かた	11
DIPスイッチ	12

2. 設置する

設置前の確認	13
設置環境を確認する	13
運搬用ロックを解除する	14
オプション（別売品）を取り付ける	16
画像プロセッシングユニットを接続する	16
IEEE1394インターフェースボードを取り付ける	17
パソコンと接続する	19
SCSIで接続する	19
本機のSCSI接続について	19
SCSI IDを設定する	20
SCSI IDを自動的に設定する	20
SCSIケーブルを接続する	21
SCSI接続のみで利用する	21
USBで接続する	22
IEEE1394で接続する	23
電源コードを接続する	24
電源を入れる・切る	26
SCSI接続時の電源の入れかた	26
USB/IEEE1394接続時の電源の入れかた	26
電源の切りかた	26
ハードリセットスイッチを使う	27

3. ソフトウェアをインストールする

TWAINドライバーをインストールする	29
TWAINドライバーの動作環境	29
TWAINドライバーのインストール手順	29
Ridoc Desk 2000 Ltをインストールする	31
Ridoc Desk 2000 Ltの動作環境	31
Ridoc Desk 2000 Ltのインストール手順	31

4. 原稿のセットのしかた

セットできる原稿のサイズと紙厚	33
自動的に読み取れる原稿サイズ	34
注意が必要な原稿について	35
原稿のセット方法	36
原稿ガラスにセットするには	36
ADFにセットする	36
裏当ての色を取り替える	39
ADF用の裏当ての色を変更する	39
原稿ガラス用の裏当ての色を変更する	40

5. TWAINドライバーを使う

TWAINドライバーで原稿を読み取る手順の概要	41
Ridoc Desk 2000 Ltで原稿を読み取る	42
こんな機能もあります	45
TWAINドライバーの機能一覧	45

6. 付録

こんなときには	47
インジケーターの点灯・点滅がいつもと違うとき	47
ADFに原稿が詰まったとき	48
原稿がADFに正常に送られない場合	49
思いどおりに読み取れないとき	50
エラーメッセージが表示されたとき	51
インストール時・その他	53
清掃	54
原稿テーブルの奥を清掃する	54
ADFを持ち上げて清掃する	55
原稿ガラス用裏当てを外して清掃する	55
ADFカバーを開けて清掃する	56
通気パネルを清掃する	56
移動・輸送	57
近くに移動するとき	57
本機を輸送するとき	57
廃棄	59
解像度、読み取り領域とデータサイズの関係	60
「白黒2値（文字）」、「白黒2値（写真）」、 「白黒2値（文字・写真）」、 「白黒2値（自動濃度）」の場合	60
「白黒256値（グレースケール）」、 「カラー256色」の場合	61
「カラー8色」、「カラー8色（写真）」の場合	61
「カラー1677万色」の場合	62
オプション	63
IS画像プロセッシングユニット タイプ760	63
スキャナー IEEE1394ユニット タイプ760	63
仕様	64
電波障害について	65
索引	66

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

△警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

△注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。

○の中に具体的な禁止内容が描かれています。

(左図の場合は、“分解禁止”を表します)



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

●の中に具体的な指示内容が描かれています。

(左図の場合は、“アース線を必ず接続すること”を表します)

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠️警告



- アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、接地工事を電気工事業者に相談してください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。



- 機械の近くまたは内部で可燃性のスプレー や引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。
- この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常に電源プラグを容易に外せるようにしてください。



- 本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。



- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源スイッチ（機種によっては主電源スイッチを含みます）を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
- 万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源スイッチ（機種によっては主電源スイッチを含みます）を切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠ 注意



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。



- 本機は約33kgあります。
- 本機を持ち上げるときは、2人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。



- 機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。



- 原稿づまりを処置してカバーを閉じる場合は、手を挟まないよう気をつけてください。けがの原因になります。

使用上のお願い

- 部品は、リコー指定の製品により安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定の交換部品をご使用ください。部品の交換はサービス実施店に相談してください。
- 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じことがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
- スキャナー内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や吸気口をふさがないようにしてください。
- 通気口などでは排気により暖かいと感じることがあります、異常ではありません。
- カバーを開けたままにしないでください。けがの原因になります。
- クリップなどの異物がスキャナーの中に入らないようにしてください。
- 原稿読み取り中に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。
- 原稿読み取り中にスキャナーの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
- 安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規制に違反して、本製品および消耗品などを諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- 日本国外へ移動された場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギー☆スタートプログラム



当社は、国際エネルギー☆スタートプログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー☆スタートプログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギー☆スタートプログラムとは、地球温暖化など、環境問題に対応するため、エネルギー消費効率の高いオフィス用機器の開発、導入を目的とした国際的な省エネルギー制度です。

このプログラムへの参加事業者は、製品が同プログラムの省エネルギー基準を満たしている場合に、エネルギー☆スタートロゴマークを製品に表示することができます。

本製品は、同プログラムに掲げる低電力モードなどを搭載し、省エネルギーを実現しています。

❖ 低電力モード

一定時間（15分）操作しない状態が続いたとき、自動的に電力の消費を低くするように設定されています。この状態から操作するときは、以下のようにしてください。

- 原稿テーブルの原稿を抜き差しする。
- ADF（自動原稿送り装置）を開けたり閉めたりする。
- ADFのカバーを開ける。
- パソコンから読み取り指示をする。

次のようなときは低電力モードに移行しません。

- エラー発生時
- 原稿テーブルに原稿があるとき

❖ 仕様

低電力モード	消費電力	7W以下
	低電力モードからの移行時間	15分

説明書の紹介

冊子で提供される説明書

❖ かんたんセットアップ

本機の設置方法について説明しています。

❖ 使用説明書（本書）

本機の設置方法や設定、操作方法について説明しています。また、困ったときの対処方法なども説明しています。

PDF形式で提供される説明書

條足

PDF形式の説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader^{*1}が必要です。

^{*1} しおりなどが、正しく表示されない場合があります。

❖ Ridoc Desk 2000 Lt セットアップガイド

Ridoc Desk 2000 Ltの動作環境の詳細とインストール方法について説明しています。

Ridoc Desk 2000 Ltのインストール時のセットアップ画面から表示させることができます。

❖ Ridoc Desk 2000 Lt はじめてガイド

Ridoc Desk 2000 Ltの機能の概要と、基本的な操作方法について説明しています。

Ridoc Desk 2000 Ltをインストールすると、スタートメニューに登録されます。

❖ Ridoc Auto Document リンクガイド

Ridoc Desk 2000 Ltとともにインストールされる「Ridoc Auto Documentリンク」の基本的な操作方法や機能について説明しています。

Ridoc Desk 2000 Ltをインストールすると、スタートメニューに登録されます。

この本の読みかた

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

※以上は、安全上のご注意についての説明です。

❗ 重要

誤って操作をすると、紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

▣ 操作の前に

操作をする前に知っておいていただきたいこと、あらかじめ準備していただきたいことなどを説明しています。

📝 捷足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

❗ 制限

数値の制限や組み合わせできない機能、機能が使用できない状態を説明しています。

🔗 参照

参照先を示します。

[]

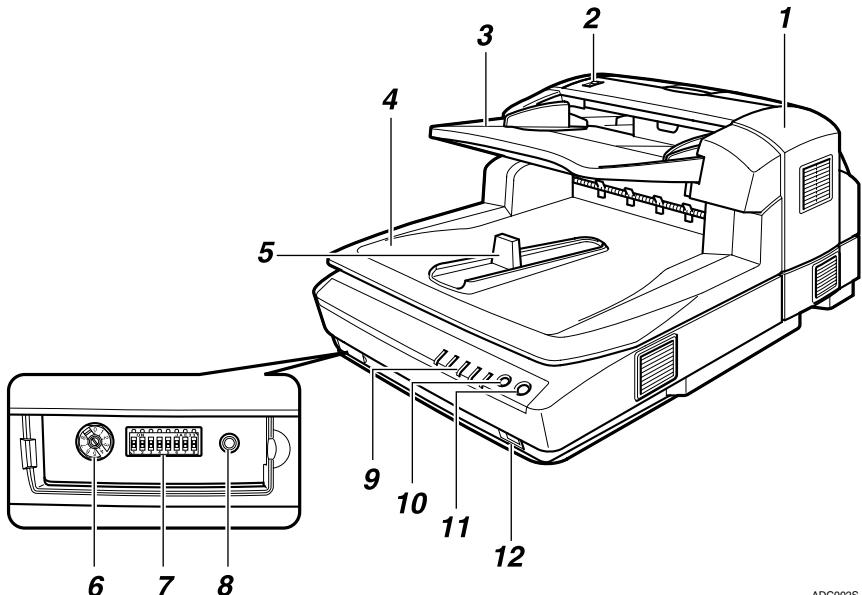
画面のキーの名称を示します。

【 】

操作部（画面を除く）のキーの名称を示します。

1. 本機について

各部の名称



ADC002S

1. ADF (自動原稿送り装置)

原稿を自動的に送って読み取るときに使用します。

2. 紙厚切替レバー

ハガキのように紙厚が $128\text{g}/\text{m}^2$ (110kg) 以上ある厚い原稿をADFで読み取るときは、紙厚切替レバーを手前にセットします。読み取り後は奥側に戻しておきます。

3. 原稿テーブル

ADFで読み取る原稿をここにセットします。

4. 排紙テーブル

ADFを使用して読み取りが終わった原稿が排出されます。

5. ストッパー

ADFで読み取り終わった原稿を止めます。

6. ロータリースイッチ

SCSI IDを設定するときに使用します。

7. DIPスイッチ

動作モードを設定するスイッチです。⇒ P.12 「DIPスイッチ」

8. ハードリセットスイッチ

本機の電源を入れ直した状態にするスイッチです。DIPスイッチやロータリースイッチの設定を有効にするときなど、電源スイッチをOFF/ONする代わりに使用できます。

9. インジケーター

本機の状態を確認することができます。⇒ P.11 「インジケーターの見かた」

10.【リセット】キー

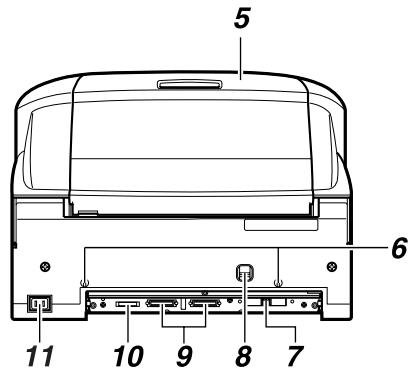
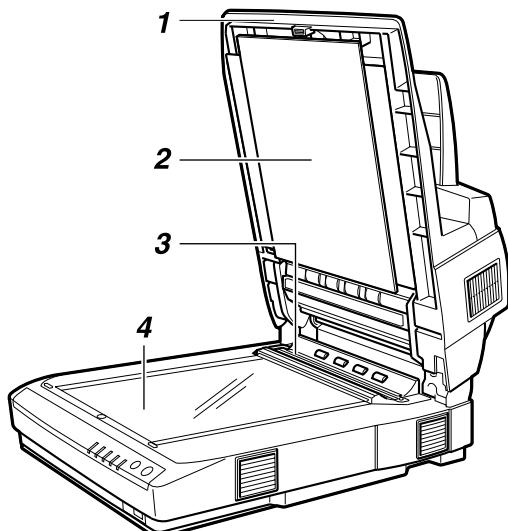
マニュアルスキャンを終了するときに使用します。

11.【スタート】キー

マニュアルスキャンを開始するときに使用します。

12.電源スイッチ

本機の電源を入れたり切ったりします。



ADC003S

1. 圧板

原稿ガラスにセットした原稿を押さえます。

2. 原稿ガラス用裏当て

原稿ガラスに原稿をセットしたときに背景を白色または黒色にするための裏当てです。

3. ADF原稿ガラス

自動原稿送り時は、ここを通ったときに原稿が読み取られます。

4. 原稿ガラス

原稿をセットします。

5. ADFカバー

原稿詰まりを直すときや、ローラーの清掃時に開けます。

6. 固定ネジ

本機を輸送するときなどに内部の読み取り装置などを固定するネジです。設置時に取り外します。⇒ P.14 「運搬用ロックを解除する」

7. USB 2.0コネクター

USB接続時、USBケーブルを接続します。オプションの IEEE1394 インターフェースボードとは排他利用になります。

8. 固定レバー

本機を輸送するときなどに内部の読み取り装置などを固定するレバーです。

9. SCSIコネクター

SCSI接続時、SCSI インターフェースケーブルを接続します。

10. SDカードコネクター

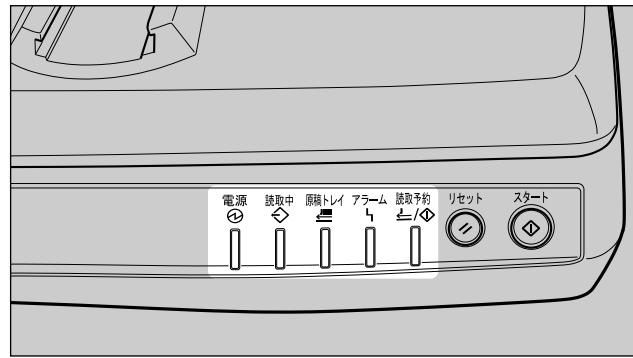
カスタマーエンジニアがメンテナンス時に使用します。

11. 電源コネクター

電源コードを接続します。

インジケーターの見かた

本機正面には次のようなインジケーターがあります。



ADC004D

インジケーター		点灯	点滅	消灯
	電源	電源ON	低電力モード	電源OFF
	読み取り中	読み取り中	データ・コマンド転送中	
	原稿トレイ	ADFに原稿あり		ADFに原稿なし
	アラーム	エラーあり		
	読み取り予約	SADFモード中または「スキャナーの[スタート]キーで開始する」で待機中		

ウォームアップ中は、すべてのインジケーターが点灯します。

アラームインジケーターが点灯している場合はエラーが発生しています。⇒P.47「インジケーターの点灯・点滅がいつもと違うとき」を参照し、エラーを解除してください。

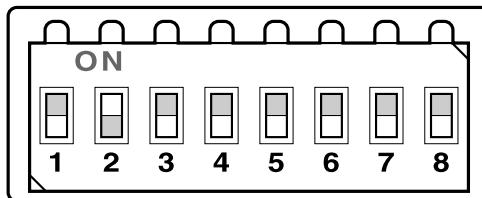
すべてのインジケーターが点滅している場合はシステムエラーです。⇒P.47「インジケーターの点灯・点滅がいつもと違うとき」を参照してください。

DIPスイッチ

本機のDIPスイッチは、1~3のみ設定を変更できます。それ以外は変更しないでください。

1

ON
↑
↓
OFF



ADC005S

SW No.	機能	OFF	ON
1	SCAM *1	禁止	許可
2	SCSI同期転送	許可	禁止
3	SCSI終端	ON	OFF
4	(システムが使用) (常にOFF状態) 変更しないでください。		
5			
6			
7			
8			

*1 SCAM : SCSI Configured Automatically。SCSIのID設定を自動的に行うための規格

!! 重要

- SCSI同期転送に設定すると、USB接続およびオプションのIEEE1394接続はご利用できなくなります。SCSI接続のみでご利用になる場合のみ、2番のスイッチをOFF(SCSI同期転送許可)にできます。
- SCSI同期転送に設定したときに、SCSIケーブルが長すぎたり、規格外のSCSIケーブルを使用すると、誤動作する可能性があります。その場合は2番のスイッチをON (SCSI同期転送禁止)に戻してください。

2. 設置する

ここでは、スキャナーを使用するための準備作業について説明します。

設置前の確認

設置環境を確認する

◆ 設置場所

△警告



- 機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

△注意



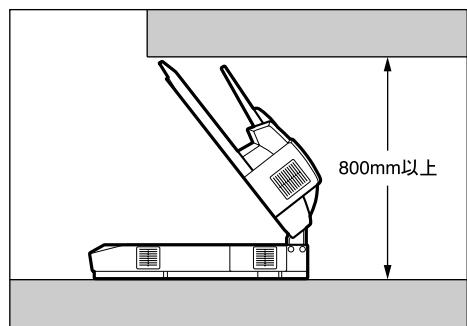
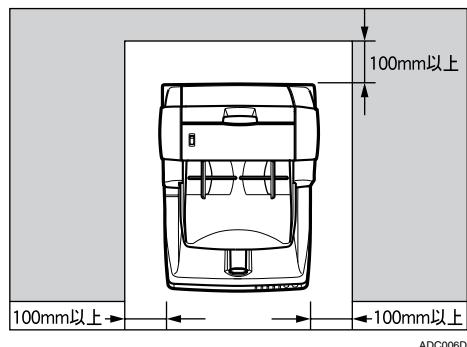
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

水平でがたつきがなく、振動のない場所を選んで設置してください。

- 設置する台の平面度：前後左右5mm以下

◆ 設置スペース

次の図のようなスペースを確保できる場所に設置してください。



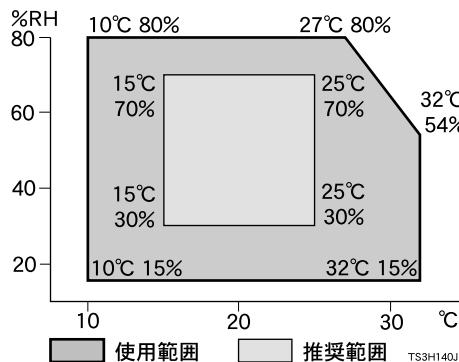
❖ 設置環境

● 重要

□ 故障の原因になりますので、次のような場所に置かないでください。

- ・直射日光の当たる所
- ・エアコンや暖房機などの温風・ふく射熱が直接当たる所
- ・ラジオ・テレビなど、他のエレクトロニクス機器に近い所
- ・高温、高湿、低温、低湿になる所
- ・加湿器の近く

温度や湿度が以下の図で示す範囲におさまる場所に設置してください。



● 重要

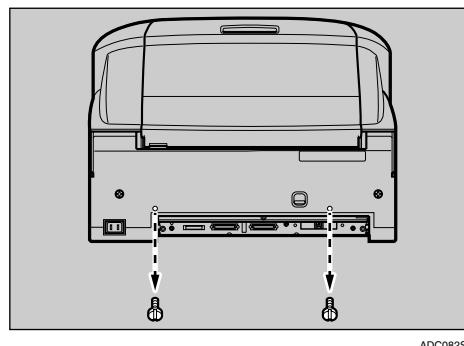
□ 本機の梱包箱や緩衝材は、本機を輸送するときに使用できるように保存してください。

□ 寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。

運搬用ロックを解除する

ここでは、スキャナーを運搬用の梱包箱から取り出したあとに行う、ロックの解除のしかたを説明します。

1 本体背面の固定ネジ2本を取り外します。



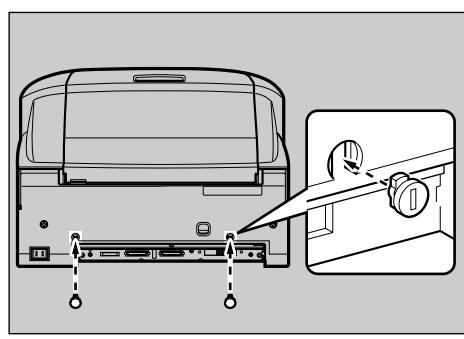
● 梅足

□ 固定ネジはコインを使って回してください。

□ 固定ネジは必ず外してください。固定ネジを外さずに電源を入れると、スキャンできないだけではなく、故障などの原因になります。

2 ネジを取り外した両方の穴に、キャップを取り付けます。

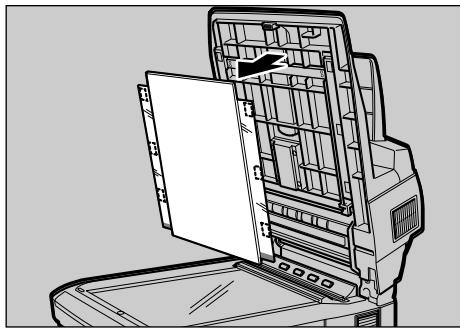
1 キャップの留め具が垂直になるように、キャップをネジ穴に差し込みます。



2 キャップを90度回します。

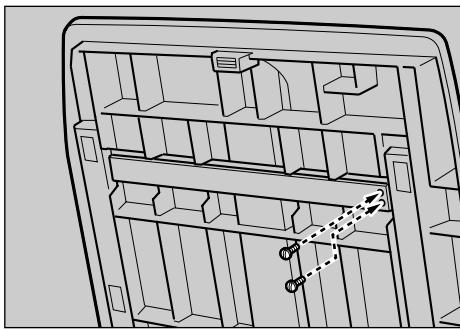
3 取り外した固定ネジを、以下のようにして圧板の裏に保管します。

① 圧板を持ち上げて、マジックテープで固定されている裏当てを静かに引っ張って外します。



ADC071S

② 取り外した固定ネジを圧板の裏側に固定して、保存します。



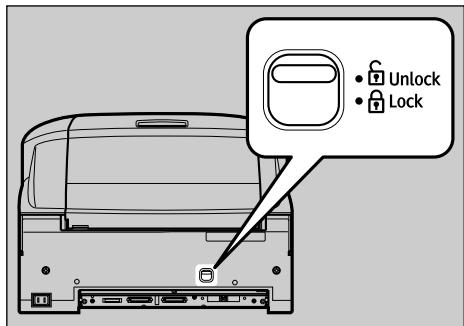
ADC086S

③ 取り外した裏当てを元に戻します。



裏当ての取り付け方法は、P.40「原稿ガラス用の裏当ての色を変更する」の手順②～⑤を参照してください。

4 本体背面の固定レバーを「Unlock」側にします。



ADC025S



補足

□ 固定レバーは必ず「Unlock」側にしてください。固定レバーが「Lock」になったまま電源を入れるとスキャンできないだけでなく、故障などの原因になります。

オプション（別売品）を取り付ける

画像プロセッシングユニットを接続する

2

重要

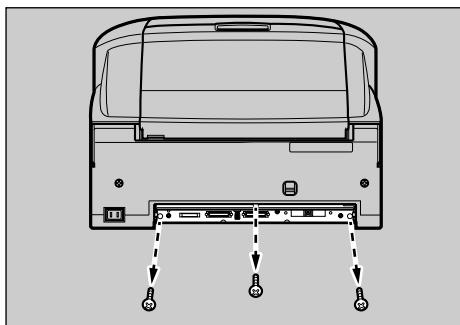
- 画像プロセッシングユニットに触れる前に、金属製のものに触れて、身体の静電気を取り除いてください。

補足

- ネジの取り外し、固定には付属の工具を使用してください。

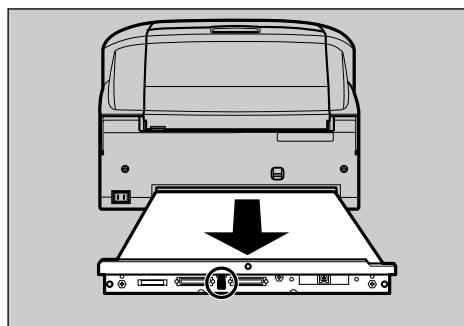
1 本機の電源を切り、電源コードなど本機に接続されているケーブルをすべて抜きます。

2 本体背面下部の3本のネジを取り外します。



ADC009S

3 中央部の黒いリボンを引いて、スキャナーコントロールユニットを引き抜きます。

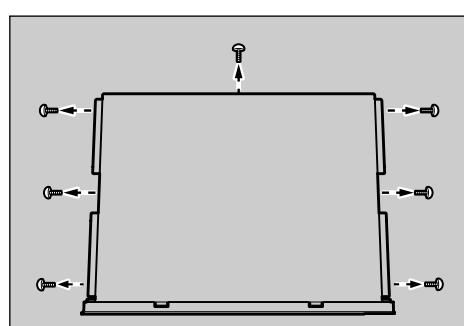


ADC010S

重要

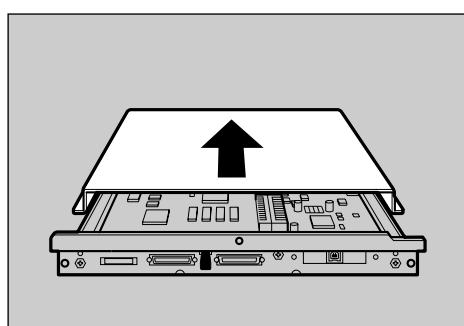
- コントロールユニットは重量があるので、落としたりしないよう注意して引き抜いてください。

4 スキャナーコントロールユニットのカバーを固定している7本のネジを取り外します。



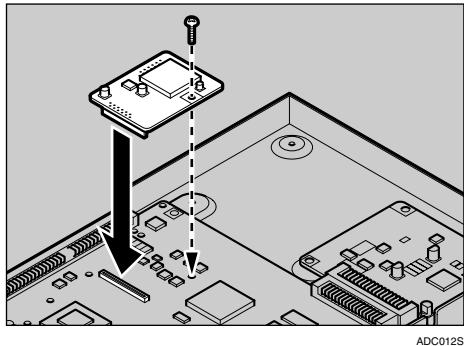
ADC064S

5 スキャナーコントロールユニットカバーを取り外します。



ADC011S

6 画像プロセッシングユニットの底面のコネクターをスキャナーコントロールユニットのコネクターに接続し、同梱されている1本のネジで固定します。



7 しっかりと接続されていることを確認し、スキャナーコントロールユニット上に金属などの異物がないことを確認します。

8 外したスキャナーコントロールユニットカバーを7本のネジで取り付けて、スキャナーコントロールユニットを本体に差し込みます。

補足

- スキャナー本体を水平に設置した状態でスキャナーコントロールユニットを挿入します。
- ネジ穴が見えるまで、しっかりと差し込みます。

9 3本のネジで固定します。

10 取り外したケーブルを元に戻します。

IEEE1394インターフェースボードを取り付ける

■ 重要

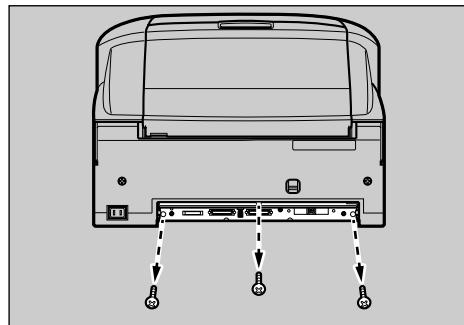
- IEEE1394インターフェースボードに触れる前に、金属製のものに触れて、身体の静電気を取り除いてください。

■ 補足

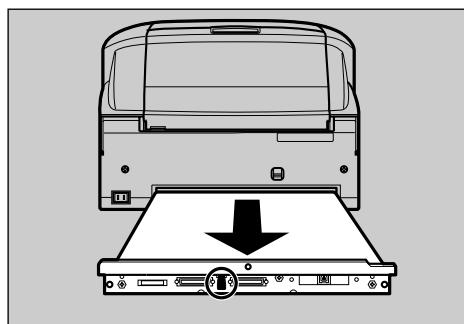
- オプションのIEEE1394インターフェースボードは、標準装備のUSB2.0インターフェースボードと排他利用になります。
- ネジの取り外し、固定には付属の工具を使用してください。

1 本機の電源を切り、電源コードなど本機に接続されているケーブルをすべて抜きます。

2 本体背面下部の3本のネジを取り外します。



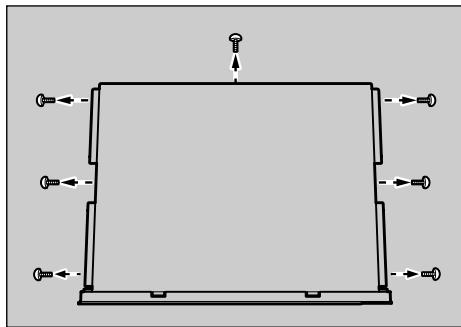
3 中央部の黒いリボンを引いて、スキャナーコントロールユニットを引き抜きます。



重要

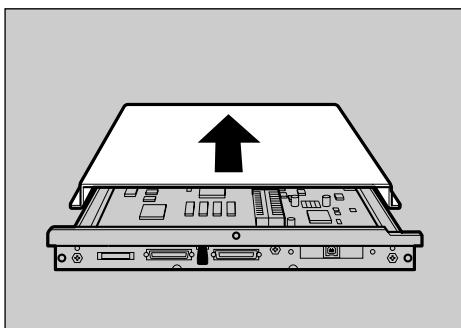
- コントロールユニットは重量があるので、落としたりしないよう注意して引き抜いてください。

4 スキャナーコントロールユニットのカバーを固定している7本のネジを取り外します。



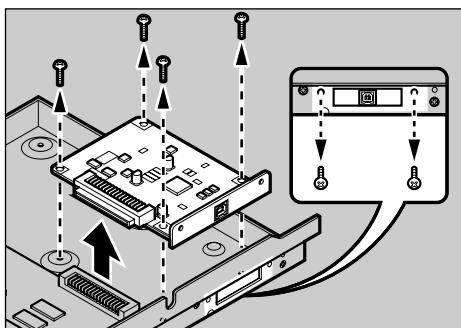
ADC064S

5 スキャナーコントロールユニットカバーを取り外します。



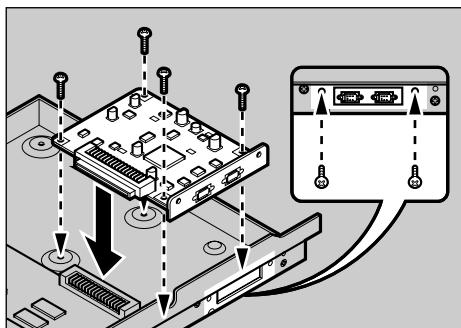
ADC011S

6 6本のネジで固定されているUSB 2.0インターフェースボードを取り外します。



ADC077S

7 IEEE1394 ポートを拡張コネクターに接続し、同梱されている4本のネジで内側から固定し、外側から2本のネジで固定します。



ADC014S

8 しっかりと接続されていることを確認し、スキャナーコントロールユニット上に金属などの異物がないことを確認します。

9 外したスキャナーコントロールユニットカバーを7本のネジで取り付けて、スキャナーコントロールユニットを本体に差し込みます。

補足

- スキャナーボードを水平に設置した状態でスキャナーコントロールユニットを挿入します。
- ネジ穴が見えるまで、しっかりと差し込みます。

10 3本のネジで固定します。

11 取り外したケーブルを元に戻します。

パソコンと接続する

本機は、SCSIインターフェース、USBインターフェース、IEEE1394インターフェースのいずれかでパソコンと接続します。なお、IEEE1394接続時は、オプションのIEEE1394インターフェースボードが必要となります。

!!重要

- ドライバーをインストールするまでは、スキャナーの電源をONにしないでください。
ドライバーをインストールする前に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動すると、正常なインストールができません。

SCSIで接続する

標準状態では、SCSIコネクターに1台、USBコネクターに1台、合計2台のパソコンを本機に接続できますが、同時に使用することはできません。SCSI／USB接続の切り替えは自動です。

オプションのIEEE1394インターフェースボード装着時には、SCSIコネクターに1台、IEEE1394インターフェースボードの2つのコネクターに各1台ずつ、合計3台のパソコンを本機に接続できますが、同時に使用することはできません。SCSI／IEEE1394-1／IEEE1394-2接続の切り替えは自動です。

本機のSCSI接続について

本機のSCSI (Small Computer System Interface) 接続は、次のようにになっています。

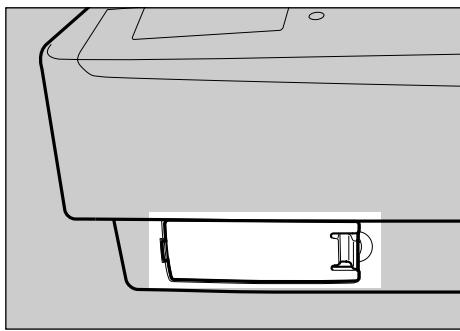
- 本機はSCSI-3に準拠しています。本機のSCSIインターフェースのコネクターは、50ピンハーフピッチ・ピンタイプのオスです。ANSI (American National Standards Institute) 規格準拠のシールドSCSI-2/3ケーブルで接続してください。
- 本機はSCAM (SCSI Configured Automatically) に対応しています。SCAM対応のSCSIボードおよびそのドライバーソフトをご使用であれば、本機のSCSI IDを自動的に設定することも可能です。⇒P.20「SCSI IDを自動的に設定する」

!!重要

- ANSI規格準拠のシールドSCSI-2/3ケーブル以外のケーブルを使用すると、誤動作またはVCCIルールの限界値を超える電波障害を起こす可能性があります。
- 接続するSCSIケーブルの長さの合計は、パソコン内部のケーブルの長さを含めて、SCSI-3 (Ultra-SCSI) 時は1.5m以下、SCSI-2時は3m以下にしてください。
- 使用するPCのSCSIボードによっては、正常に動作しない場合があります。動作確認済みのSCSIボードは、RICOHのホームページ「<http://www.ricoh.co.jp/>」をご覧ください。

SCSI IDを設定する

1 前面左下にあるスイッチボックスのカバーを開けます。

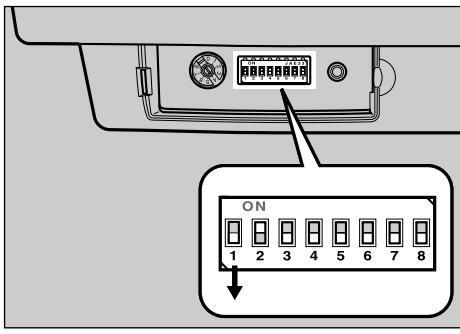


ADC015S

補足

- つまみを左に押しながら手前に引いて開けます。

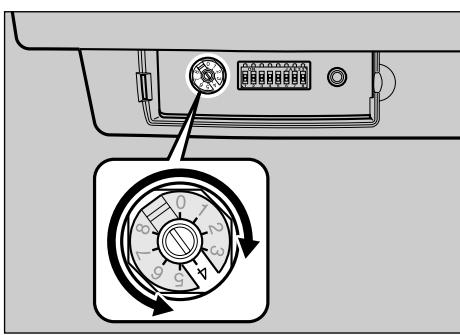
2 DIPスイッチの1番がOFFになっていることを確認します。



ADC069S

SCAM機能が禁止されます。

3 ロータリースイッチを回してSCSI IDを設定します。



ADC017S

補足

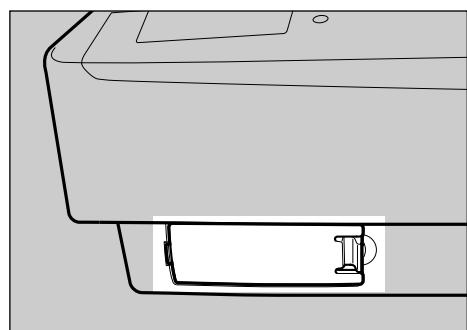
- 電源が入った状態で設定を変更した場合は、ハードリセットする必要があります。⇒ P.27 「ハードリセットスイッチを使う」

SCSI IDを自動的に設定する

補足

- SCAM機能のないドライバーソフトを使用していたり、SCSI IDが重複したときは、SCSI IDを手動で設定してください。⇒ P.20 「SCSI IDを設定する」

1 前面左下にあるスイッチボックスのカバーを開けます。

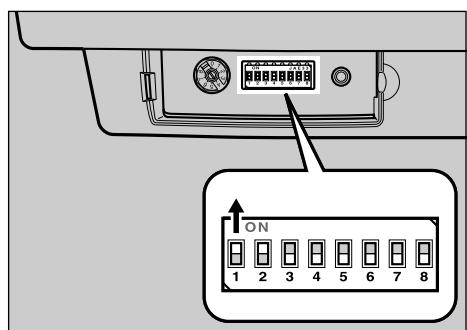


ADC015S

補足

- つまみを左に押しながら手前に引いて開けます。

2 DIPスイッチの1番をONにします。

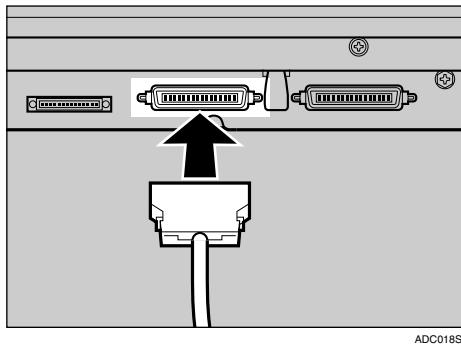


ADC016S

SCAM機能が有効になります。

SCSIケーブルを接続する

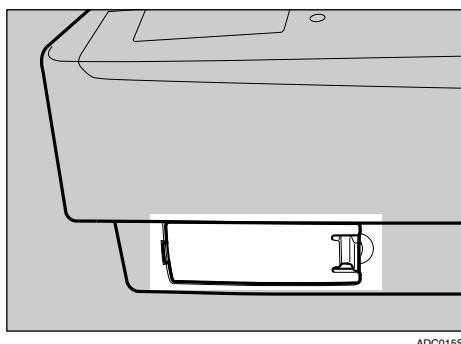
- 1 パソコンの電源を切ります。
- 2 パソコンと本機を、SCSIケーブルで接続します。



補足

- 左右のコネクターのどちらか片方を使用します。

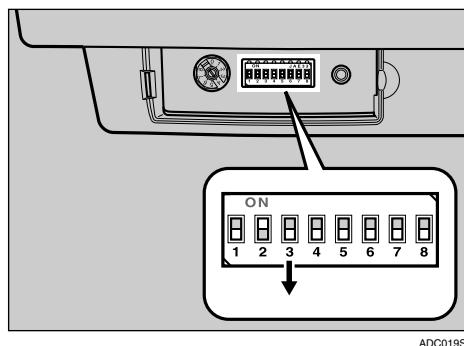
- 3 前面左下にあるスイッチボックスのカバーを開けます。



補足

- つまみを左に押しながら手前に引いて開けます。

- 4 DIPスイッチの3番をOFFにします。



内部のターミネーターが有効になります。

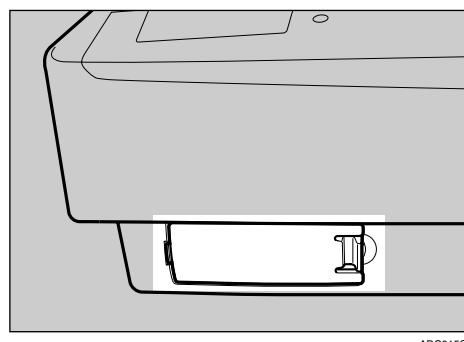
補足

- 電源が入った状態で設定を変更した場合は、ハードリセットする必要があります。⇒P.27「ハードリセットスイッチを使う」

SCSI接続のみで利用する

USB接続やオプションのIEEE1394接続を利用しない場合は、SCSI同期転送を行うことで高速なデータ転送が可能となり、読み取り終了までのトータル時間を短縮できます。

- 1 前面左下にあるスイッチボックスのカバーを開けます。

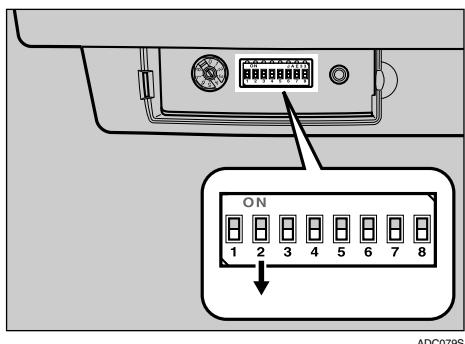


補足

- つまみを左に押しながら手前に引いて開けます。

2

2 DIPスイッチの2番をOFFにします。



SCSI同期転送機能が有効になります。

補足

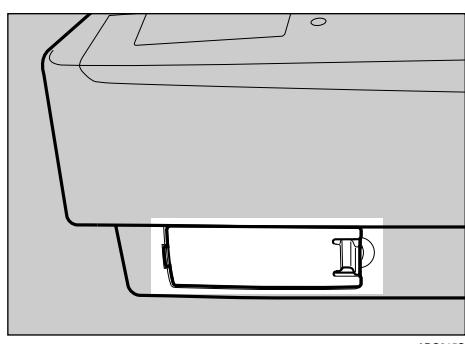
- 電源が入った状態で設定を変更した場合は、ハードリセットする必要があります。⇒ P.27 「ハードリセットスイッチを使う」

USBで接続する

補足

- USBケーブルは推奨品を使用してください。他のケーブルでは正常動作しない場合があります。推奨品については、RICOHのホームページ「<http://www.ricoh.co.jp/>」でご確認ください。
- SCSIコネクターに1台、USBコネクターに1台、合計2台のパソコンを本機に接続できますが、同時に使用することはできません。SCSI/USB接続の切り換えは自動です。

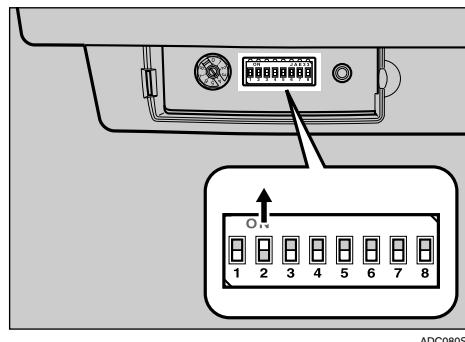
1 前面左下にあるスイッチボックスのカバーを開けます。



補足

- つまみを左に押しながら手前に引いて開けます。

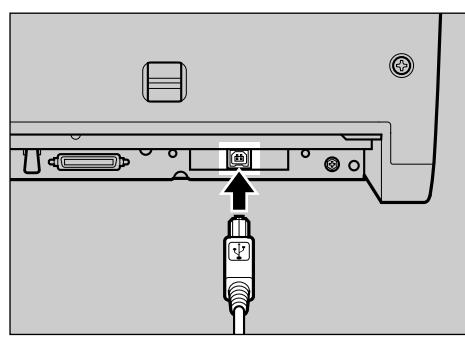
2 DIPスイッチの2番がONになっていることを確認します。



補足

- OFFになっている場合はONにしてください。USB接続時にOFFになっていると、本機をパソコンが認識できません。
- 電源が入った状態で設定を変更した場合は、ハードリセットする必要があります。⇒ P.27 「ハードリセットスイッチを使う」

3 USBコネクターにUSBケーブルを接続します。



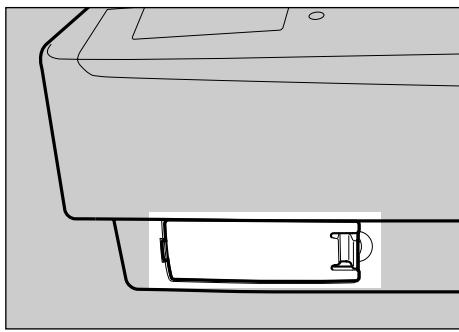
4 ケーブルのもう一方を、パソコンのUSBコネクターに接続します。

IEEE1394で接続する

補足

- オプションのIEEE1394インターフェースボードが必要です。
- オプションのIEEE1394インターフェースボードには、IEEE1394ケーブルが1本同梱されています。
- 一部のパソコンのIEEE1394インターフェースボードでは正常動作しない場合があります。動作確認済みのIEEE1394インターフェースボードは、RICOHのホームページ「<http://www.ricoh.co.jp/>」をご覧ください。
- 標準装備のSCSIコネクターに1台、IEEE1394インターフェースボードの2つのコネクターに各1台ずつ、合計3台のパソコンを本機に接続できますが、同時に使用することはできません。SCSI／IEEE1394-1／IEEE1394-2接続の切り換えは自動です。

1 前面左下にあるスイッチボックスのカバーを開けます。

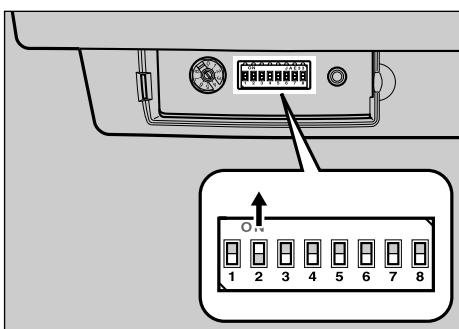


ADC015S

補足

- つまみを左に押しながら手前に引いて開けます。

2 DIPスイッチの2番がONになっていることを確認します。

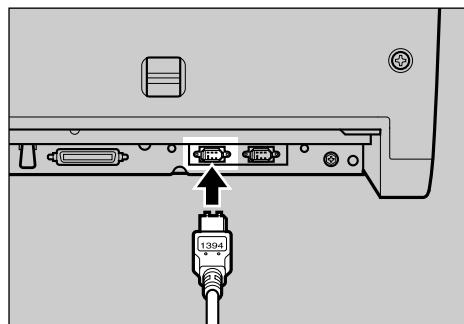


ADC080S

補足

- OFFになっている場合はONにしてください。IEEE1394接続時にOFFになると、本機をパソコンが認識できません。
- 電源が入った状態で設定を変更した場合は、ハードリセットする必要があります。⇒ P.27「ハードリセットスイッチを使う」

3 IEEE1394コネクターにIEEE1394ケーブルを接続します。



ADC023S

補足

- 2つのコネクターのどちらか片側を使用します。

4 ケーブルのもう一方を、パソコンのIEEE1394コネクターに接続します。

5 もう1台のパソコンとIEEE1394接続する場合は、空いているIEEE1394コネクターを使って**3**と**4**を繰り返します。

電源コードを接続する

本機に電源コードを接続する手順について説明します。

⚠ 警告



- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 延長コードの使用は避けてください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



- アース接続してください。アースが接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、設置工事を電気工事業者に相談してください。
- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

⚠ 警告



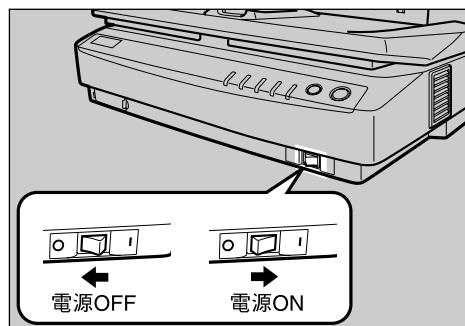
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意



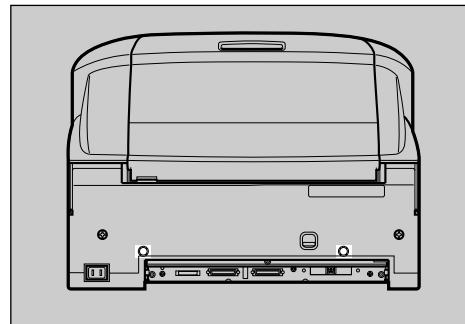
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

1 電源スイッチが切れていることを確認します。



ADC024D

2 本体背面の固定ネジが外されて、キャップが詰められていることを確認してください。

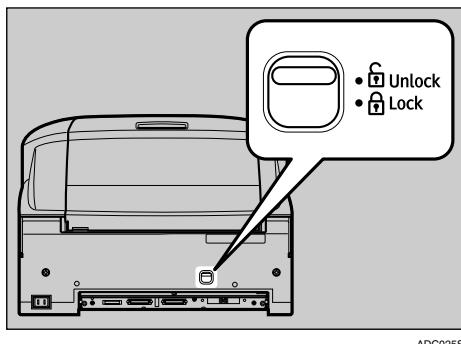


ADC088S

⚠ 重要

- 固定ネジは必ず外してください。固定ネジを外さずに電源を入れると、スキヤンできないだけではなく、故障などの原因となります。固定ネジの外し方は、⇒ P.14 「運搬用ロックを解除する」を参照してください。

3 本体背面の固定レバーが「Unlock」側になっていることを確認します。

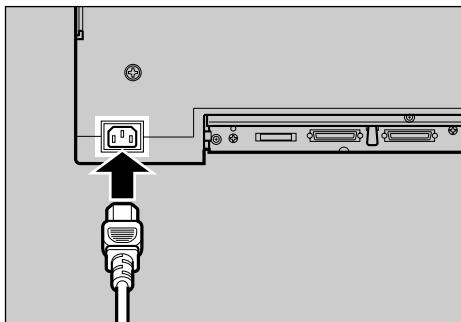


ADC025S

! 重要

- 固定レバーが「Unlock」側になっていることを必ず確認してください。解除しないで電源を入れるとスキャンできないだけではなく、故障などの原因になります。

4 電源コードを本機の電源コネクターに奥までしっかりと差し込みます。

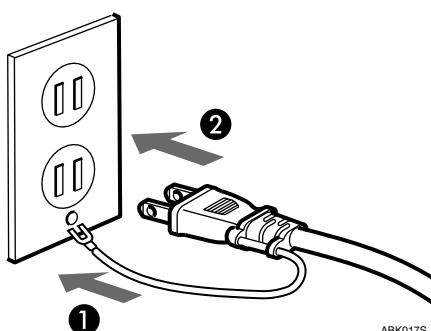


ADC026S

補足

- 電源コードは本機に付属されているものを使用してください。

5 アース接続を行い、電源プラグをコンセントに差し込みます。



ABK017S

△警告



- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

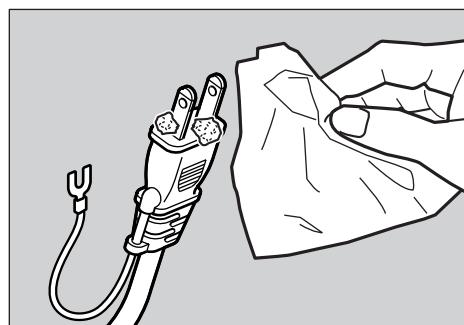
本機のアース端子は必ずアース対象物に接続してください。アース対象物は次のとおりです。

- コンセントのアース端子
- 接地工事（D種）を行っているアース線

△注意



- 電源プラグは年に1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

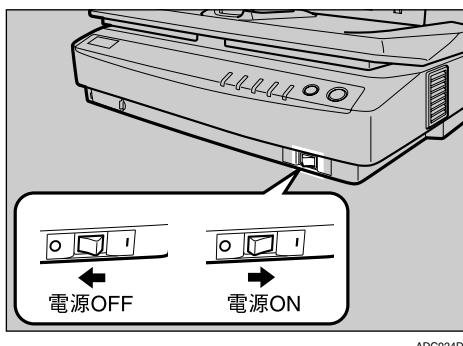


ABK018S

電源を入れる・切る

【!】重要

□ ドライバーをインストールするまでは、スキャナーの電源をONにしないでください。
「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動してしまい、正常なインストールができません。ドライバーをインストールする前に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動したときは、[キャンセル]ボタンをクリックして、ウィザードを中止してください。



ADC024D

電源の切りかた

電源を切るときの順番はありません。本機またはパソコン、どちらからでも切ることができます。

SCSI接続時の電源の入れかた

本機の電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。

【】補足

□ パソコンの電源を入れてから本機の電源を入れると、本機を認識できません。

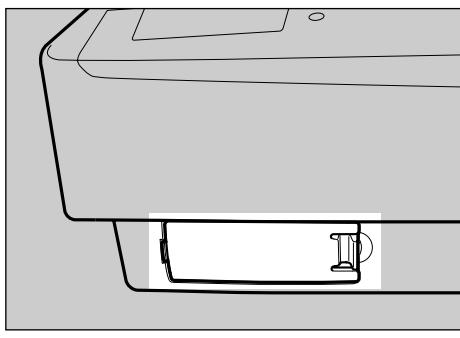
USB/IEEE1394接続時の電源の入れかた

電源の入れかたの順番はありません。本機またはパソコン、どちらでも先に入れることができます。

ハードリセットスイッチを使う

電源を入れた状態でロータリースイッチ（SCSI ID）やDIPスイッチの設定を変更したときは、本機をハードリセットする必要があります。本機をハードリセットするには、電源を入れ直すか、下記のような操作を行います。

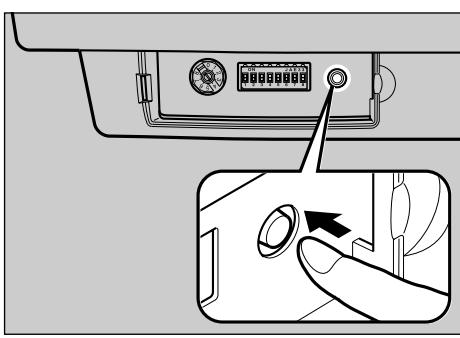
1 前面左下にあるスイッチボックスのカバーを開けます。



補足

- つまみを左に押しながら手前に引いて開けます。

2 ハードリセットスイッチを押します。



電源を入れたときの状態と同じになります。

設置する

2

3. ソフトウェアをインストールする

本機をTWAINスキャナーとして利用するためには、使用するPCにTWAINドライバー（RICOH TWAINドライバー）をインストールする必要があります。

また、TWAINドライバーと同じCD-ROMから、TWAIN対応アプリケーションである「Ridoc Desk 2000 Lt」をインストールできます。

TWAINドライバーをインストールする

■ 操作の前に

スキャナーの電源をOFFにしたまま、インストールを開始します。

TWAINドライバーの動作環境

本機をTWAINスキャナーとして利用するPCは、以下の条件を満たしてください。

（「推奨」はカラー1677万色を読み取るための環境です。）

- コンピューター本体
PC/AT互換機
- CPU
Pentium 200MHz以上（Pentium II 350MHz以上推奨）
- メインメモリー
64Mバイト以上（128Mバイト以上推奨）
- ハードディスク空き容量
200Mバイト以上（1Gバイト以上推奨）
- ディスプレイ
800×600ドット256色以上（カラー1677万色以上推奨）
- 対象OS
Windows 95（OSR2以降）/98/98SE/Me/2000（Service Pack 4以降）/XP、Windows NT 4.0（Service Pack 5以降）、Windows Server 2003

TWAINドライバーのインストール手順

■ 操作の前に

Windows 2000/XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0でインストールするときは、Administratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 スキャナーの電源はOFFのまま、パソコンを起動します。

■ 補足

□ ドライバーをインストールする前にスキャナーの電源をONにしてパソコンを起動すると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が開始されてしまいます。その場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

2 「ドライバー&ユーティリティー」CD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

「ドライバー&ユーティリティー」のメインメニュー画面が表示されます。

■ 補足

□ CD-ROMは、Windowsが起動している状態でセットします。CD-ROMをセットしたままWindowsを起動したときは、起動後にCD-ROMをセットしなおしてください。

インストーラーが自動的に起動しない場合

① [スタート]ボタンから[ファイル名を指定して実行]を開きます。

② [名前]に「D:¥Setup.exe」（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、[OK]をクリックします。

3 [TWAINドライバー]ボタンをクリックします。

TWAIN ドライバーのインストーラーが起動しますので、画面の指示にしたがってインストールをしてください。

4 スキャナーの電源をONにします。

5 パソコンを再起動します。

お使いのOSがWindows 95、Windows NT4.0の場合は、以上でインストール終了です。手順**6**はありません。

3

Windows 95、Windows NT4.0以外のOSの場合は、**プラグ & プレイ**でスキャナーが見つかり、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。

6 「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択して、画面の指示にしたがって、「新しいハードウェアの検出ウィザード」を「完了」まで行います。

 **補足**

- インストール中にWindows のシステムCD-ROM をセットするように指示するダイアログが表示されることがあります。画面の指示に従ってWindows のシステムCD-ROM を挿入して操作を続けてください。
- 「ロゴテストに合格していません」という内容のダイアログが表示されることがあります。[続行] をクリックしてください。

 **ヘルプおよびTWAIN V4読み取りモード
情報インポート/エクスポートツール**

TWAIN ドライバーのインストール終了後、「スタート」メニューの「プログラム」に「RICOH TWAIN for IS760D」メニューが作成され、ここからヘルプを表示できます。また、「Readme.txt」には、TWAIN ドライバーを使ううえでの注意事項などが書かれていますので、使用する前に必ずお読みください。

「モード情報インポート_エクスポートツール」は、TWAIN V4 ドライバー内で登録した読み取りモードを PC 上のファイルとして保存したり、保存したファイルを読み込むためのツールです。設定した読み取りモードのバックアップや、同じ読み取りモードを他の PC で利用したいときなどにご使用ください。保存(エクスポート)・読み込み(インポート)は、登録した読み取りモードごとに指定できます。詳しい使い方は、「ImportExportToolJ.txt」をお読みください。

 **接続方法を変えたときは**

SCSI 接続から USB 接続や IEEE1394 接続に変更したり、その逆など、最初にインストールした接続方法とは別の接続方法に変更するときは、ケーブル接続後、手順**4**から実行してください。その際、「ドライバー & ユーティリティ」CD-ROMは不要です。

 **補足**

- 別のケーブルを接続するときは、DIPスイッチの設定を必ず確認してください。

Ridoc Desk 2000 Ltをインストールする

Ridoc Desk 2000 Ltは、画像データやその他のイメージファイル、アプリケーションソフトで作成した文書ファイルなど、多様なデータを1つの文書として管理・印刷することができるソフトウェアです。また、TWAINにも対応していますので、本機のTWAINドライバーを使って読み取りを行う場合にも利用できます。

Ridoc Desk 2000 Ltの動作環境

Ridoc Desk 2000 LtをインストールするクライアントPCは、以下の条件を満たしてください。

- コンピューター本体
PC/AT互換機
- CPU
Pentium 133MHz以上 (Pentium II 266MHz以上を推奨)
- メインメモリー
48Mバイト以上 (128Mバイト以上を推奨)
- ハードディスク空き容量
インストール用に70Mバイト以上、文書保存先には200Mバイト以上を推奨
- ディスプレイ
800×600ドット以上、65,536色以上推奨
- 対象OS
Windows 98 SE/Me/2000 (Service Pack 1以降)
/XP、Windows Server 2003

Ridoc Desk 2000 Ltのインストール手順

3

操作の前に

Windows 2000/XP、Windows Server 2003でインストールするときは、Administratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。

1 「ドライバー＆ユーティリティー」CD-ROMをコンピューターのCD-ROMドライブにセットします。

「ドライバー＆ユーティリティー」のメインメニュー画面が表示されます。

補足

□ CD-ROMは、Windowsが起動している状態でセットします。CD-ROMをセットしたままWindowsを起動したときは、起動後にCD-ROMをセットしなおしてください。

インストーラーが自動的に起動しない場合

- ① [スタート]ボタンから[ファイル名を指定して実行]を開きます。
- ② [名前]に「D:\Setup.exe」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し、[OK]をクリックします。

2 [個人文書管理ソフト Ridoc Desk 2000 Lt]ボタンをクリックします。

Ridoc Desk 2000 Ltのセットアップ画面が表示されます。

3 [Ridoc Desk 2000 Lt]ボタンをクリックします。

補足

□ [セットアップガイド]ボタンをクリックすると、『セットアップガイド』(PDF形式)が表示されます。

- [Adobe Reader] ボタンをクリックすると、Adobe Readerがインストールされます。

Ridoc Desk 2000 Ltのインストールが始まりますので、画面の指示にしたがってインストールをしてください。

4. 原稿のセットのしかた

ここでは、読み取る原稿を本機にセットする方法を説明します。

原稿ガラスまたはADFに原稿をセットできます。複数の原稿を連続して読み取りたいときや原稿の両面を読み取りたいときは、ADFを使用すると便利です。

セットできる原稿のサイズと紙厚

原稿セット先	原稿サイズ（主走査方向×副走査方向）	原稿紙厚(四六判)
原稿ガラス	297mm×432mmまで	制限なし
ADF	<p>❖ 定型サイズ</p> <p>最大:A3□、11×17□</p> <p>最小:B6□</p> <p>❖ 不定形サイズ</p> <ul style="list-style-type: none">片面カラー最大:297mm×630mm最小:69mm×90mm片面モノクロ最大:297mm×2000mm最小:69mm×90mm両面カラー・両面モノクロ最大:297mm×432mm最小:69mm×90mm	40~157g/m ² (35~135kg)

補足

- ハガキなど、紙厚が128g/m²(110kg)以上ある厚い原稿をADFで読み取るときは、紙厚切替レバーを手前にセットします。読み取り後は奥側に戻しておきます。
- カラー画像データのときは、上の表の条件に当てはまっていても読み取れないことがあります。詳しくは、CD-ROMの中のReadme.txtを参照してください。

自動的に読み取れる原稿サイズ

本機が自動的にサイズを検知して読み取れる原稿サイズは以下のとおりです。

❖ 裏当てが「黒」のとき

原稿ガラスおよびADFの任意サイズの原稿サイズを検知します。

❖ 裏当てが「白」のとき

- 原稿ガラスにセットした原稿
自動検知できません。

- ADFにセットした原稿

A3□(297mm×420mm)

B4□(257mm×364mm)

A4□(210mm×297mm)

A4□(297mm×210mm)

B5□(182mm×257mm)

B5□(257mm×182mm)

A5□(210mm×148mm)

B6□(182mm×128mm)

注意が必要な原稿について

次のような原稿を読み取るときは、ここで説明されていることにしたがって、注意してセットしてください。

❖ サイズを読み取りにくい原稿

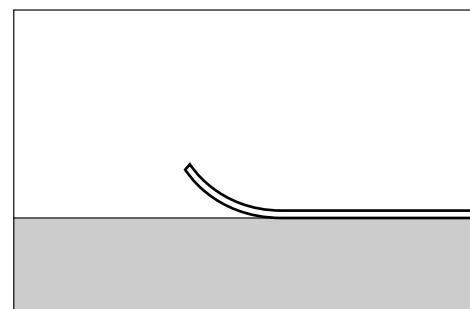
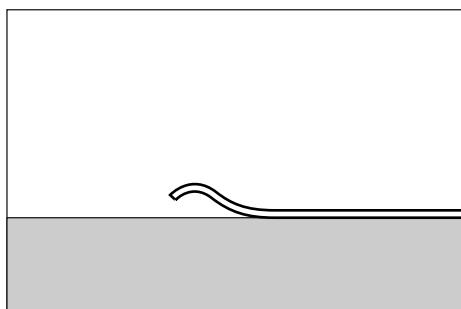
次のような原稿はサイズを読み取りにくいため、「自動検知」を設定しても正しいサイズが選択されないことがあります。手動で用紙を選択してください。

- 付せんやインデックスなど、はみ出た部分のある原稿
- OHP フィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）などのように透明度の高い原稿
- 文字や絵柄部などが多く、全体に黒っぽい原稿
- 部分的にベタ部がある原稿
- 周囲にベタ部がある原稿

❖ ADFにセットできない原稿

次のような原稿をADFにセットすると、紙づまり、原稿破損、白スジ、黒スジの原因になることがあります。原稿ガラスにセットしてください。

- ステープラーの針やクリップのついた原稿
- 穴、破れのある原稿
- そり、折れ、しわのある原稿
- はり合わせた原稿
- 感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙などのように表面が加工された原稿
- ミシンがけ原稿
- インデックスや付せんなど、はみ出た部分のある原稿
- 登記簿などに使われるような薄くてやわらかい原稿
- ノンカーボン紙など、摩擦力の大きな原稿
- 本などのようにとじてある原稿
- OHP フィルムなどのように透明度の高い原稿
- 修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿
- 先端のカールが大きい原稿



ADC065

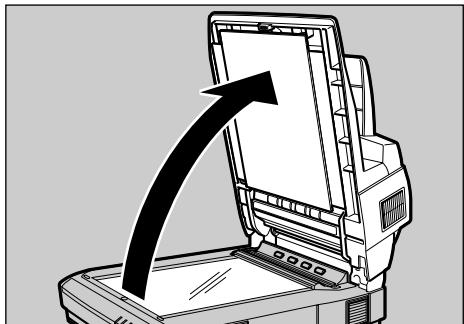
原稿のセット方法

原稿ガラスにセットするには

!**重要**

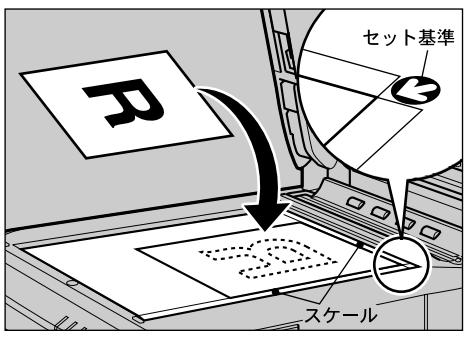
- ADFを閉じるときは、指を挟まないようにご注意ください。

1 ADFを上げます。



4

2 読み取る面を下にし、セット基準およびスケールに合わせて原稿をセットします。



!**重要**

- 原稿ガラスは強く押さないでください。局部的に強い力がかかると破損する可能性があります。

3 ADFを静かに閉めます。

ADFにセットする

ADFには、一度に複数枚の原稿をセットすることができます。

❖ ADFに原稿をセットするときの注意

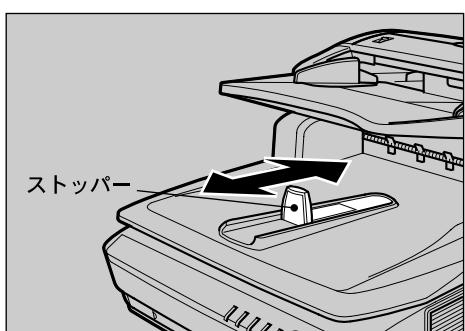
- ADFにセットできない原稿については、P.35 「ADFにセットできない原稿」を参照してください。

!**重要**

- セットできない原稿を ADFにセットすると、原稿が詰まったり、破損するなどの原因となることがあります。このような原稿は原稿ガラスにセットしてください。

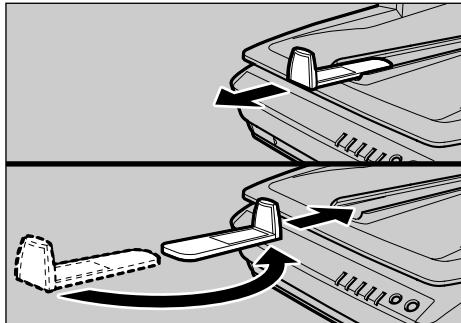
- ADFの上限表示を超えないようにセットしてください。
- 原稿の先端がカールしていて ADFの紙送りができないときは、セット量を減らすか、紙の先端をまっすぐに矯正してください。
- 自動的に検知できる原稿サイズについては、P.34 「自動的に読み取れる原稿サイズ」を参照してください。
- 重送（複数枚の原稿が重なったまま一度に送られること）されないようにするため原稿をパラパラとほぐしてからセットしてください。

1 排紙テーブルのストップバーを原稿に合わせて調整します。



 **補足**

- 縦のサイズがA5□・A6□以下の原稿を読み取るときは、下図のように排紙テープのストッパーを抜き、逆向きに挿して、位置を調整してください。



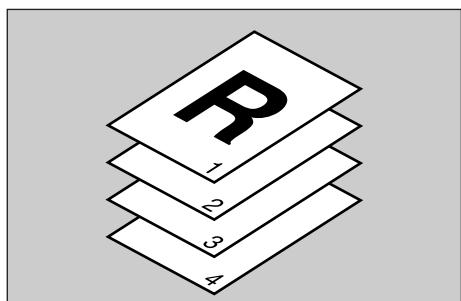
ADC033S

 **重要**

- ストッパーを出した状態でストッパーを持ってADFを開閉しないでください。

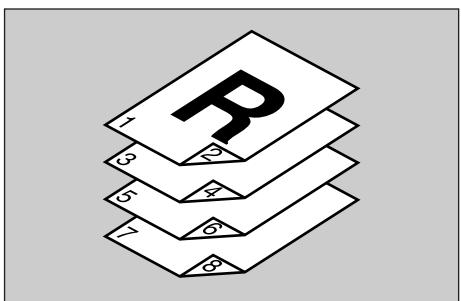
2 原稿を揃えます。ページ順でスキャンされるようにするには、次のように揃えます。

- 片面読み取りの場合



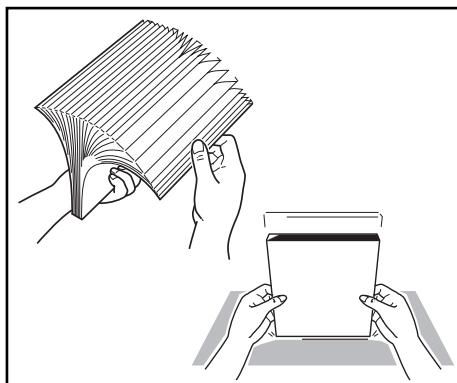
ADC062S

- 両面読み取りの場合



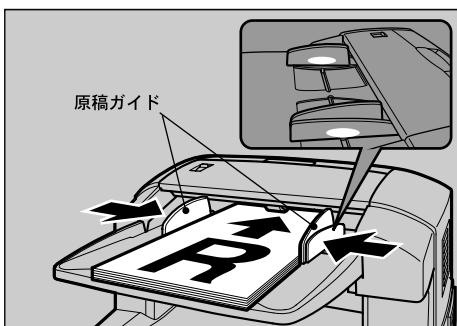
ADC063S

3 原稿をよくさばき、四隅を整えてください。



4

4 先頭ページを上にしてADFに原稿をセットし、原稿ガイドを原稿サイズに合わせます。

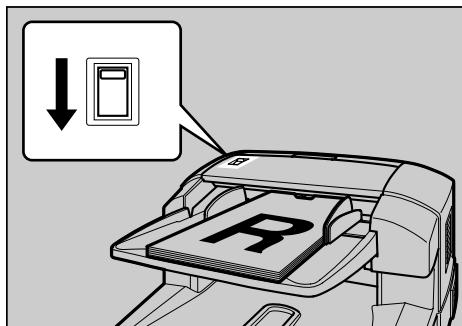


ADC034D

 **補足**

- 原稿ガイドを調整するときは、原稿トレイ上のスライド溝の上のあたりの根元を持って、ゆっくりと操作してください。
- 原稿トレイ上のスライド溝に、クリップやごみを落とさないように注意してください。
- ADFが閉じていることを確認してください。

5 ハガキのように紙厚が128g/m²(110kg)以上ある厚い原稿のときは、紙厚切替レバーを手前にセットします。



ADC078S

4

筆記 補足

□ 読み取り後は奥側に戻しておきます。

裏当ての色を取り替える

原稿サイズを自動検知させたり、原稿に合わせて鮮明な画像を得るために、裏当ての色を変更します。

重要

- TWAIN ドライバーの設定（[初期設定] - [裏当て] タブ）も同時に変更してください。
- ADF用の裏当ての色・原稿ガラス用の裏当ての色・TWAIN ドライバーの設定は、同じ設定にしてください。

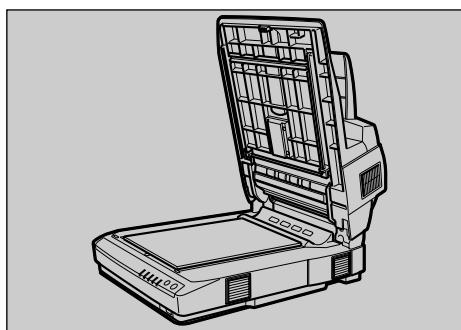
補足

- 自動検知できる原稿サイズは、裏当ての色が「白」か「黒」かによって異なります。⇒ P.34 「自動的に読み取れる原稿サイズ」
- 「黒」にすると、両面原稿の裏写りを軽減できます。
- 半透明の原稿を読み取るときは「白」にします。

ADF用の裏当ての色を変更する

1 ADFを持ち上げます。

2 原稿ガラス用の裏当てを外します。

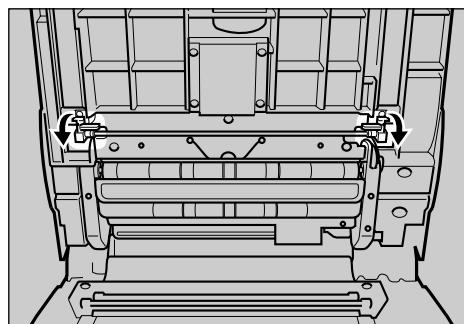


ADC035S

参考

⇒ P.40 「原稿ガラス用の裏当ての色を変更する」の手順①

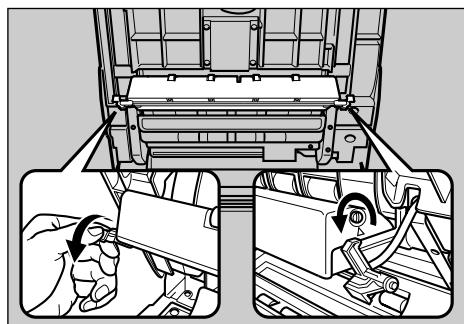
3 両手でレバーを回し下げます。



ADC036S

ADF用裏当て格納ボックスが引き出されます。

4 左側のレバーを押し下げて、右側のネジを△マークの位置まで回して裏当ての色を変更します。

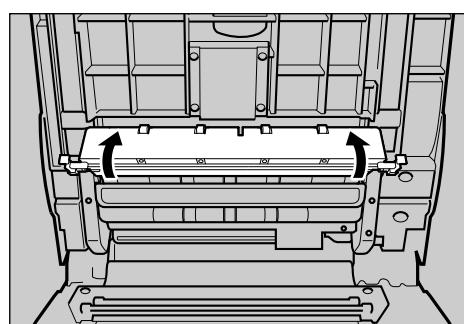


ADC037S

補足

- 逆方向には回さないでください。
- 「カチッ」と音がするまで回してください。ネジの溝が△マークの位置に合って、裏当ての色が完全に変わったことを確認してください。

5 手順 3 で引き出した ADF 用裏当て格納ボックスを両手で押して、戻します。



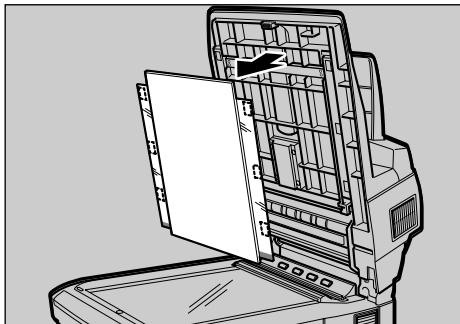
ADC038S

原稿ガラス用の裏当ての色を変更する

補足

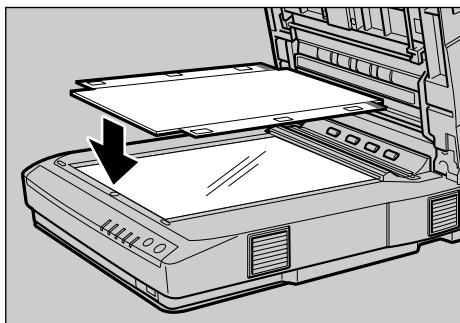
- 原稿ガラス用の裏当ての色を変更するには、裏当ての表裏を逆にして取り付けます。

1 壓板を持ち上げて、マジックテープで固定されている裏当てを静かに引っ張って外します。



ADC071S

2 使用する色を下にして、裏当てを原稿ガラスの上に乗せます。

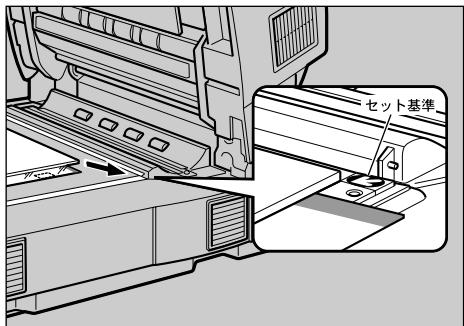


ADC072S

補足

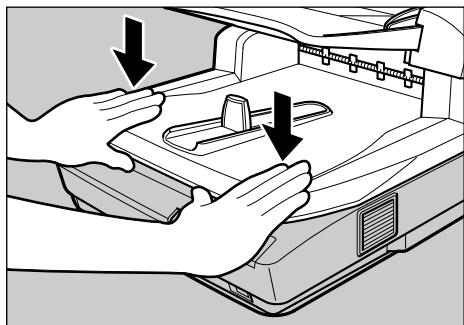
- オレンジ色のラインが、原稿セット基準点側にくるように裏当てをセットします。

3 裏当ての右上と原稿セット基準点を合わせます。



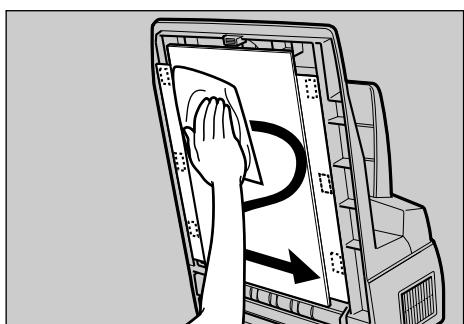
ADC073D

4 壓板をゆっくり閉じて、しっかり押さえます。



ADC074S

5 もう一度圧板を持ち上げて、同梱の布で裏当てを全体的にしっかりおさえます。



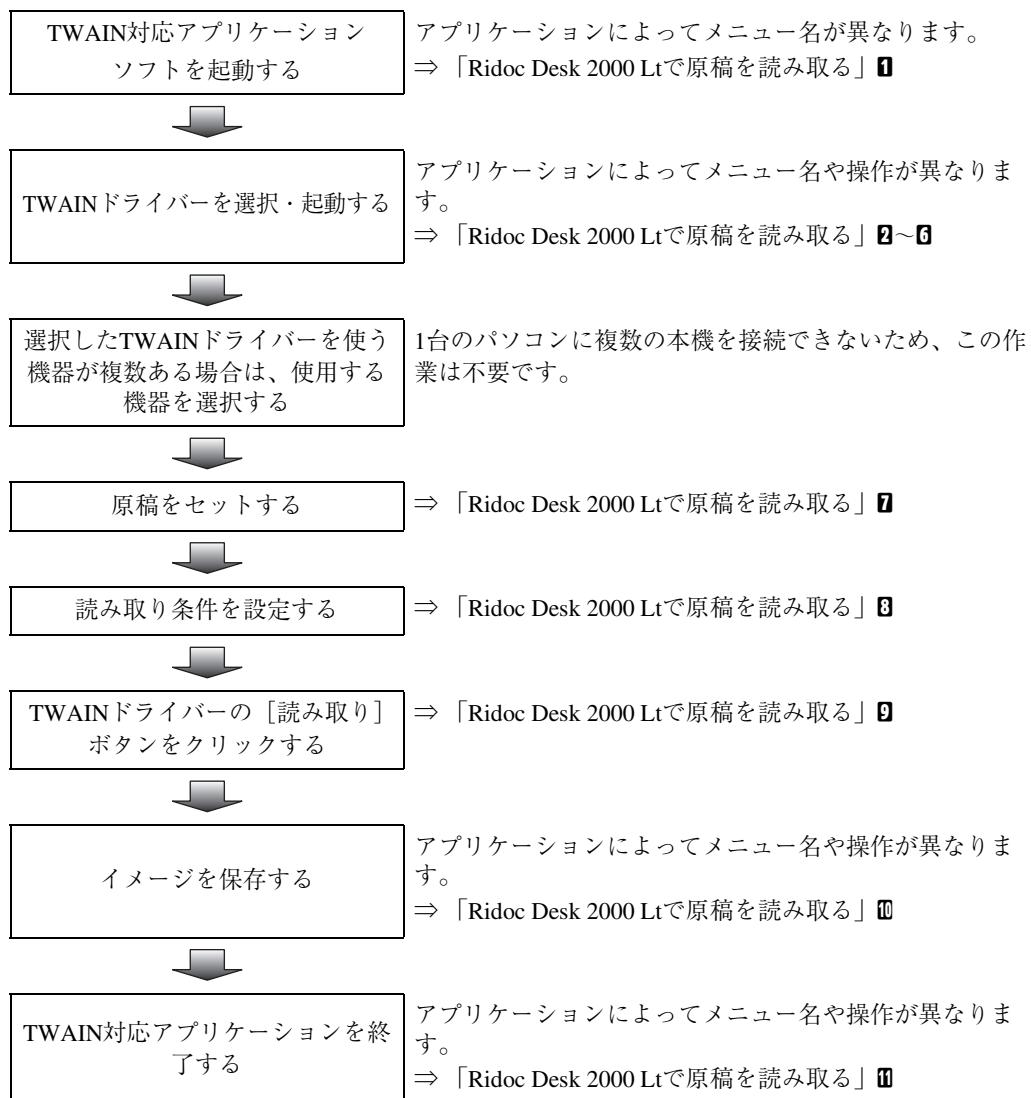
ADC075S

5. TWAINドライバーを使う

この章では、TWAIN対応アプリケーションとしてRidoc Desk 2000 Ltを使った読み取りの基本的な操作を説明します。また、本スキャナーのTWAINドライバーのおもな機能を紹介します。

TWAINドライバーで原稿を読み取る手順の概要

パソコンから本機をTWAIN入力機器として、画像を読み込むときの手順の流れを示します。



Ridoc Desk 2000 Ltで原稿を読み取る

ここでは、TWAIN ドライバーの使用例として、Ridoc Desk 2000 Ltを使って、スキャナーから1枚の原稿を読み取る方法を、P.41 「TWAIN ドライバーで原稿を読み取る手順の概要」に沿って説明します。

補足

- Ridoc Desk 2000 Ltを使用中に、パソコンのキーボードの【F1】キーを押すと、ヘルプが表示されます。操作がわからないときに、ご利用ください。
- イージースキャン機能については、Ridoc Desk 2000 Ltのヘルプを参照してください。

1 [スタート] ボタンから [プログラム] をポイントし、[RICOH Ridoc Desk 2000] から [Ridoc Desk 2000] をクリックします。

Ridoc Desk 2000 Ltが起動します。



2 [ツール] メニューの [スキャナー設定] をクリックします。



[スキャナー設定] ダイアログボックスが表示されます。

補足

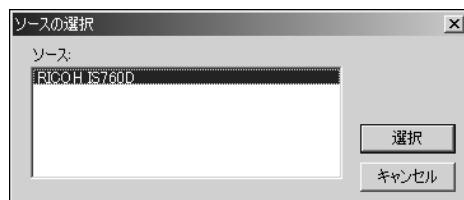
- [スキャナー入力画像の保存ファイル形式] グループで選択されているファイル形式でRidoc Desk 2000 Ltに保存されます。必要に応じて設定を変更してください。

3 [スキャナー選択] をクリックします。



[ソースの選択] ダイアログボックスに、クライアントPCにインストールされているTWAIN ドライバーが表示されます。

4 [RICOH IS760D] をクリックし、[選択] をクリックします。



[ソースの選択] ダイアログボックスが閉じられ、本機のTWAIN ドライバーが選択されました。

5 [スキャナー設定] ダイアログボックスの [OK] をクリックします。

[スキャナー設定] ダイアログボックスが閉じます。

6 [ファイル] メニューの [文書登録] をポイントし、[スキャン] をクリックします。



Ridoc Desk ビューアが開き、選択したTWAIN ドライバーに対応するスキャナーの検索が行われ、TWAIN ドライバーのダイアログボックスが表示されます。



7 原稿をセットします。

補足

- 原稿ガラスか ADF に、読み取る原稿をセットします。原稿のセット方法については、P.36 「原稿のセット方法」を参照してください。

8 読み取り条件を設定します。

補足

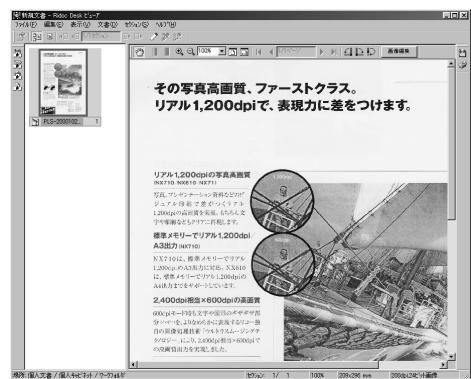
- 読み取り条件の設定方法やプレビューの使い方は、TWAIN ドライバーのヘルプを参照してください。

9 [読み取り] をクリックします。

補足

- TWAIN ドライバーの [スキャナーの [スタート] キーで開始] にチェックが入っているときは、[読み取り] をクリックしたあと、本機の [スタート] キーを押します。

原稿が読み取られて Ridoc Desk ビューアのウィンドウに画像が表示され、TWAIN ドライバーのダイアログボックスが自動的に閉じます。



5

補足

- 読み取ったイメージは回転や切り抜きなどの編集をしたり、編集した状態を印刷することができます。編集や印刷の操作については Ridoc Desk 2000 Lt のヘルプを参照してください。

10 読み取ったイメージを Ridoc Desk 2000 Lt に保存します。

① [ファイル] メニューの [終了] をクリックします。



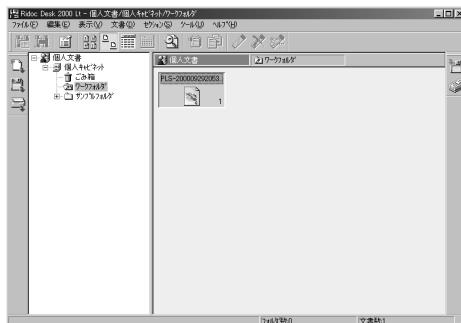
[文書情報の入力] ダイアログボックスが表示されます。

5



② 文書名を入力し、[OK] をクリックします。

Ridoc Desk 2000 Lt にイメージが保存され、Ridoc Desk ビューアが閉じます。



補足

□ 保存されたイメージをファイルとして書き出すこともできます。詳しくは、Ridoc Desk 2000 Lt のヘルプを参照してください。

11 Ridoc Desk 2000 Lt を終了します。

① [ファイル] メニューの [Ridoc Desk の終了] をクリックします。



Ridoc Desk 2000 Lt が終了します。

こんな機能もあります

ここでは、本機のTWAINドライバーが持つ多彩な機能のいくつかを紹介します。

参照

それぞれの機能の詳細やその他の機能については、ヘルプを参照してください。

TWAINドライバーの機能一覧

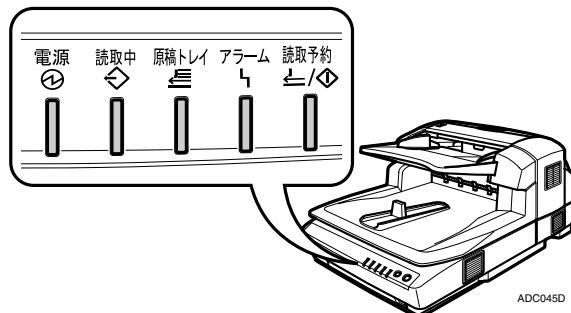
項目名	設定内容	説明
読み取りモード	標準／写真／OCR／ファイリングの基本4モード／ユーザー追加100モード	読み取り条件の呼び出し設定と新規登録ができます。
文字向き	0度／右90度／180度／左90度	原稿のセットする向きに合わせることにより、イメージを自動で回転する機能です。両面原稿の場合は、読み取り面と合わせて指定します。また、日本語原稿の場合、文字向き自動識別機能もあります。
集約／分割	2ページを1ページに集約／4ページを1ページに集約／2ページに分割／しない	見開き原稿のデータを1ページずつに分割したり、両面原稿の表裏を集約して1ページにすることができます。
カラー256色 (色／階調)	←	24bitカラーのデータを8bitに減色し、データサイズを小さくします。
印字	文字列／日付／カウンター	読み取ったイメージに左記内容の組み合わせを追加できます。また、使用する文字のサイズや書体の変更も可能です。
ICM (カラーマッチング)	←	ICMを設定すると、プロファイルに合わせカラーデータをマッチングさせます。
傾き自動補正	←	原稿の傾きを検出して、その補正を行います。傾きが補正されたイメージデータが取得できます。
スキャナーの【スタート】キーで開始	←	本機の【スタート】キーで、読み取りを開始します。
プレビュー	←	読み込むイメージを、読み込みを実行する前に確認できます。条件の変更による読み込みイメージの変化を、リアルタイムに確認することができます。
SADF	←	ADFに原稿を置くだけで読み取りを開始します。重送しやすい薄紙原稿時は、SADFをオンにして、原稿を1枚ずつADFにセットして読み取らせます。
原稿サイズ	自動検知(混載)／自動検知(非混載)／各種定形サイズ／不定形サイズ	裏当てが黒背景時は、ADF/原稿ガラスとともに、【自動検知(混載)】で任意サイズの原稿の幅や長さを自動的に検知できます。
重送検知	超音波／長さ／超音波+長さ／なし	ADF使用時に、2枚以上の原稿が同時に送り込まれたかどうかを検知して知らせます。原稿の長さをチェックする方法のほかに、原稿と原稿の間にできる隙間を超音波を使ってチェックする方法が加わって、重送がより確実に検知できるようになりました。

6. 付録

こんなときには

インジケーターの点灯・点滅がいつもと違うとき

ここでは、本機正面右のインジケーターの点灯・点滅・消灯の意味と対処方法について説明します。



ADC045D

電源	読取中	原稿トレイ	アラーム	読取予約	エラーの内容	対象方法
◎	—	—	◎	—	ADFまたはADFのカバーが正しく閉じられていません。	ADFまたはADFのカバーを閉めてください。
◎	—	◎	◎	—	原稿がADFの中に詰まっています。 原稿が重なったままADFに送られたり、原稿が正常に送られていません。	詰まつた原稿を取り除いてください。 正しく送られなかった原稿を取り除いてください。
○	○	○	○	○	システムエラー	サービス実施店に連絡してください。

◎:点灯

○:点滅

—:消灯

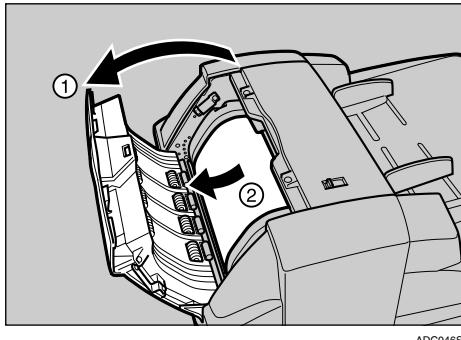
補足

- ここで示されていない点灯や点滅が発生しているときは、本機の電源スイッチを切ってからもう一度電源スイッチを入れてください。それでもエラーが消えない場合は、エラーの内容をサービス実施店に連絡してください。

ADFに原稿が詰まったとき

ADFに原稿が詰まったときや、重送（原稿が重なって送られること）時は、以下の手順で原稿を取り除いてください。

1 ADFのカバーを開き、原稿が詰まっている場合は取り除きます。

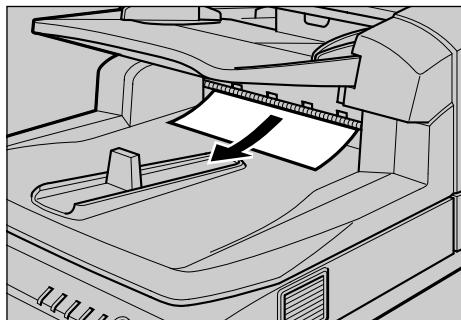


ADC046S

補足

□ ADF カバーを閉じるときは、2つのマグネットが2つともマグネットキャッチに合わさって、きちんと閉じたことを確認してください。

2 原稿テーブルの奥に原稿が詰まっている場合は取り除きます。

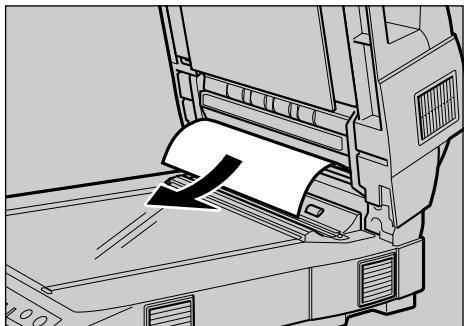


ADC047S

補足

□ ADFを少し持ち上げると、原稿を取り除きやすくなります。

3 ADFを持ち上げて、原稿が詰まっている場合は取り除きます。



ADC066S

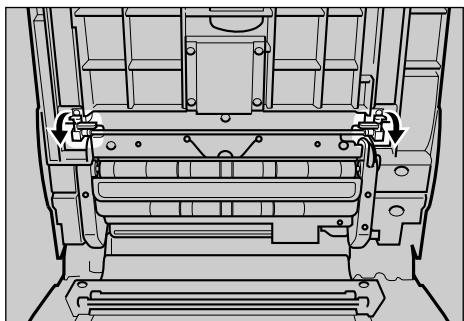
4 上記の3か所に原稿がない場合は、次のようにします。

① 原稿ガラス用裏当てを外します。



⇒ P.40 「原稿ガラス用の裏当ての色を変更する」

② 両手で青いレバーを回し下げます。



ADC036S

ADF用裏当て格納ボックスが引き出されます。

③ 原稿を取り除きます。



ADC067S

 **補足**

- ADFにセットできない小さな原稿は、原稿ガラスから読み取ってください。
⇒ P.33 「セットできる原稿のサイズと紙厚」

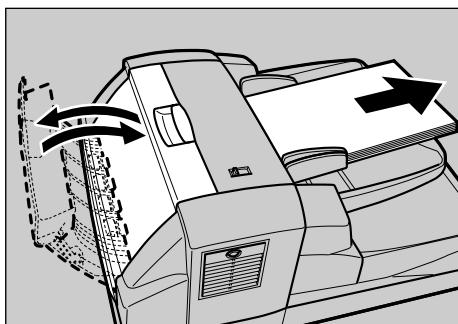
 **参照**

ADF用裏当て格納ボックスの戻し方は、P.39「ADF用の裏当ての色を変更する」の手順❸を参照してください。

原稿ガラス用裏当ての取り付け方法は、P.40「原稿ガラス用の裏当ての色を変更する」を参照してください。

原稿がADFに正常に送られない場合

- 1** 原稿をADFから外します。
- 2** ADFカバーを開くか、ADFを持ち上げます。



ADC048S

原稿テーブルの異常が解消します。

- 3** ADFカバーまたはADFを元に戻します。

 **補足**

- ADFカバーを閉じるときは、2つのマグネットが2つともマグネットキャッチに合わさって、きちんと閉じたことを確認してください。

思いどおりに読み取れないとき

状態	原因・対処方法・参照先
読み取ったイメージが汚れる	<ul style="list-style-type: none"> 原稿ガラス、ADF原稿ガラス、裏当て、原稿ローラー、フィードローラーなどが汚れています。 原稿ガラス、ADF原稿ガラス、裏当て、原稿ローラー、フィードローラーなどを清掃してください。⇒ P.54 「清掃」
ADFを使うと原稿に傷が付く	<ul style="list-style-type: none"> 紙厚切替レバーの状態が原稿の紙厚に合っていないと傷が付くことがあります。厚紙使用時に、通常モードになっていないか確認してください。ハガキのように紙厚が 128g/m^2 (110kg)以上ある原稿のときは、紙厚切替レバーを手前（厚紙モード）にセットします。
イメージがゆがむ、ずれる	<ul style="list-style-type: none"> 読み取り中に原稿が動きました。読み取り中は原稿を動かさないでください。 原稿が原稿ガラスから浮き上がっていました。原稿を原稿ガラスに十分押し当ててください。
イメージの上下が逆に読み取られる	<ul style="list-style-type: none"> 原稿が上下逆にセットされていました。原稿の向きを逆にするか、TWAINドライバーの「文字向き」を逆にセットしてください。
イメージが読み取れない	<ul style="list-style-type: none"> 原稿の表と裏が逆にセットされていました。正しくセットしてください。 原稿ガラスにセットするときは、読み取りたい面を下に向け、ADFにセットするときは、読み取りたい面を上に向けてください。
白背景のときに、実際の原稿サイズより2~3mm長くなってしまう	<ul style="list-style-type: none"> [原稿サイズ] を自動検知から定形サイズに変更してください。 原稿が不定形サイズの場合は、[基本] タブで原稿サイズを指定してください。 黒背景にしてください。原稿どおりのサイズ検知が可能です。特に、混載時は黒背景をご利用ください。

エラーメッセージが表示されたとき

エラーメッセージ	主な原因	対処法
スキャナーが見つかりません。 スキャナーの電源を確かめてください。	<ul style="list-style-type: none"> スキャナーが見つかりません。 SCSI接続時に、スキャナーの電源より先に、パソコンを起動しています。 SCSI同期転送モードになっていています。USB/IEEE1394接続を利用する場合は、SCSI非同期転送モードでご利用ください。 	<ul style="list-style-type: none"> スキャナーが正しく接続されているか、ケーブルやコネクターを確認してください。 スキャナーの電源を確認してください。 SCSI接続時は、パソコンから遠い周辺機器から順に電源を入れ、最後にパソコンの電源を入れます。 USB/IEEE1394接続時は、スイッチボックス内のDIPスイッチの2番をONにして、ハードリセットスイッチを押します。
スキャナーの準備ができていません。 スキャナー及びオプションを点検してください。	<ul style="list-style-type: none"> スキャナーがイニシャライズ中などでビジー状態です。 ADFカバーが開いています。 ADFが上がった状態です。 	<ul style="list-style-type: none"> スキャナーの電源を入れた直後は、レディになるまで数秒待ってください。 ADFの状態を確認してください。
スキャナーで復旧不可能なエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> スキャナーでハードウェア上、復旧不可能なエラーが発生しました。 	<ul style="list-style-type: none"> サービス実施店に、エラーメッセージとエラーNo.をご連絡ください。
スキャナーでエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> 装置への設定パラメーターにエラーがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> TWAINドライバーを再インストールしてください。 それでも発生する場合は、サービス実施店にご連絡ください。
ドライバー内部でエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> ドライバーや本体の不具合、またはOS環境が不適切です。 	<ul style="list-style-type: none"> OSを再起動してください。 それでも発生する場合は、サービス実施店にご連絡ください。
必要なライブラリモジュールが見つかりません。インストールをやり直してください。	<ul style="list-style-type: none"> ライブラリモジュールがありません。 	<ul style="list-style-type: none"> TWAINドライバーを再インストールしてください。
メモリーが不足しています。 他のアプリケーションを終了してからやり直してください。	<ul style="list-style-type: none"> PCのRAMまたは仮想メモリーが不足しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み取りに必要なアプリケーション以外は閉じてください。 PCのRAMまたは使用できる仮想メモリー（ハードディスク）の容量を増やしてください。

エラーメッセージ	主な原因	対処法
ADFで紙づまりが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> ADF内に原稿が詰りました。 ADFでミスフィードが発生しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 詰まった原稿を取り去って、スキャンし直します。⇒ P.48 「ADFに原稿が詰まったとき」 ミスフィードした原稿を元に戻して、エラーを解除します。⇒ P.49 「原稿がADFに正常に送られない場合」 ADFにセットできる原稿かどうかを確認してください。⇒ P.35 「ADFにセットできない原稿」
原稿のサイズがわかりません。 読み取りサイズを設定してください。	<ul style="list-style-type: none"> 原稿サイズの自動検知に失敗しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 原稿ガラスの裏当てが白であるにもかかわらず、TWAINドライバーでの設定が「黒背景」になっています。原稿ガラスの裏当てが白の場合、自動検知はできません。TWAINドライバーの [初期設定] - [裏当て] タブで、[裏当て] を「白背景」に設定したあと、[原稿サイズ] を手動で設定するか、原稿ガラス用裏当てを黒に変更してください。
カウントアップ(ダウン)の限界です。 これ以上は印字できません。	<ul style="list-style-type: none"> 印字カウンターの桁あふれが発生しました。指定桁内の最大値を超えたか、最小値を下回りました。 	<ul style="list-style-type: none"> カウンター(通し番号)が [印字設定] タブの [桁数] で設定した桁を超えました。原稿のページ数を確認して、[開始値]、[ステップ]、[桁数] を設定してください。 [印字設定] タブの [ステップ] に負の値を設定したときに、カウンター(通し番号)が-1になりました。原稿のページ数を確認して、カウンターが0以上の整数になるように、[開始値]、[ステップ] を設定してください。
これ以上読み取りモードを登録できません。	<ul style="list-style-type: none"> 読み取りモードの登録上限に達しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーが登録できる読み取りモードは最大で100個です。使わない読み取りモードを削除してください。
これ以上読み取りエリアを登録できません。	<ul style="list-style-type: none"> 読み取りエリアの登録上限に達しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーが登録できる読み取りエリアは最大で100個です。使わない読み取りエリアを削除してください。
重送が発生しました。読み取りを継続しますか？ 繼続する場合は、原稿をセットし直して「はい」を、終了する場合は「いいえ」を押してください。	<ul style="list-style-type: none"> 重送(2枚以上の原稿を重ねたままADFに送ること)を検知しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 読み取りを継続する場合は、重送した原稿をADFに戻してから「はい」をクリックしてください。「はい」をクリックすると、読み取りを再開します。 読み取りを終了する場合は、「いいえ」をクリックします。 紙厚切替レバーの状態が原稿の紙厚に合っていないと重送が起きやすくなります。通常厚—128g/m²(110kg)未満—の原稿使用時はレバーを奥側(通常モード)にセットします。

エラーメッセージ	主な原因	対処法
原稿方向の自動判定に失敗しました。原稿方向を指定してください。	• 文書方向判定にて、方向不明と判定されたイメージが存在します。	• 「文字向き自動識別」ができませんでした。イメージ画像を確認して、必要なら手動でイメージ画像を回転させるか、「文字向き」を設定し直してください。
原稿を回転できません。解像度を下げて再度読み取りを行なってください。	• 自動回転が可能なファイルサイズを超える。	• 解像度を下げて再度読み込むか、読み取りエリアを小さくして再度読み込んでください。
解像度の補正を出来ません。解像度をnDPIに設定して、読み取りを行なってください。	• 集約時の最低解像度は、本機の仕様に記載されている最低解像度で読み取ったものを集約するため、メッセージに表示された解像度が最低解像度になります。	• 指定された解像度に変更してください。

インストール時・その他

症状	主な原因	対処法
「新しいハードウェアの検出ウィザード」で「ドライバー&ユーティティ」CD-ROMを指定しても、ドライバーが見つからない。	• インストール手順が違います。	• 「ドライバー&ユーティティ」CD-ROMでTWAINドライバーをインストールしてから、「新しいハードウェアの検出ウィザード」を起動します。⇒P.29「TWAINドライバーをインストールする」
USB/IEEE1394接続時、パソコンが本機を認識しない。	• SCSI同期転送モードになっています。	• DIPスイッチの2番をONにして、ハードリセットスイッチを押します。
Windows 2000/XP使用時にUSB接続で読み取りを行うとハンギングアップする。	• WindowsのService Packをインストールした際に、USBのドライバーが正常に更新されませんでした。	• デバイスマネージャからUSBドライバー（Intel PCI to USB Enhanced Host Controller）を一度削除し、ハードウェアの更新をスキャンします。「Intel PCI to USB Enhanced Host Controller」がお使いのUSBドライバーに更新されます。

清掃

⚠️ 警告



- 本書で指定している部分以外のカバー・ねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店に依頼してください。
- この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。

⚠️ 注意



- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

6

本機を良好な状態に保つために、定期的に清掃してください。

ローラー類は3か月ごとを目安に、通気パネルと中のフィルターは6か月ごとを目安に清掃してください。ただし、使用する原稿や枚数に応じて清掃間隔は異なります。ガラス類は汚れたときに清掃します。

ガラス類は、同梱のクリーニングクロスで乾拭きします。同梱のクリーニングクロスで汚れがとれないときは、やわらかい布を水で濡らし、固く絞ってから拭いてください。水でもとれない汚れは中性洗剤を使って拭き、水拭きして、その後乾拭きし、水気を十分にとります。

ローラー部は、まずやわらかい布で乾拭きします。乾拭きで汚れがとれないときは、やわらかい布を水で濡らし、固く絞ってから拭いてください。水でもとれない汚れは、エチルアルコールを使って拭き、水拭きして、その後乾拭きし、水気を十分にとります。

⚠️ 重要

- ペンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。変形、変色、ひび割れの原因になります。
- ADF内部にホコリや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。

補足

- 同梱のクリーニングクロスは、収納ケースとともに使いやすい場所に設置してご利用ください。収納ケースは両面テープ付きです。

⚠️ 注意

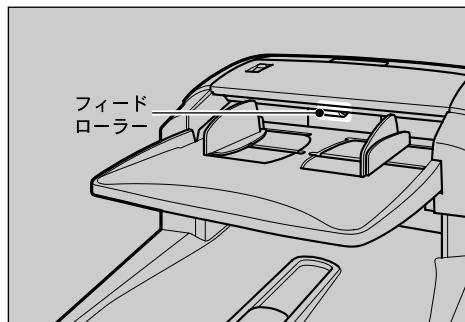


- ADFを閉じる場合は、指を挟まないようにご注意ください。

原稿テーブルの奥を清掃する

1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 フィードローラーを指で回しながら、水で濡らして固く絞った布で拭きます。



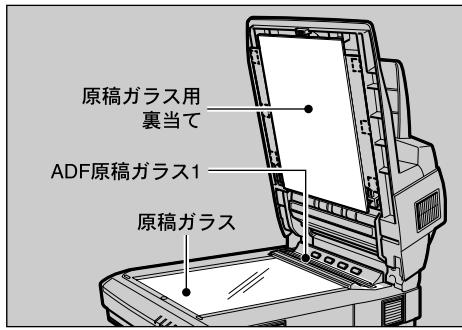
ADC050D

補足

- 鉛筆などの定着のよくないもので書かれた原稿を読み取った後は、必ずフィードローラーを清掃してください。清掃をしないと、次に読み込んだ原稿を汚すことがあります。

ADFを持ち上げて清掃する

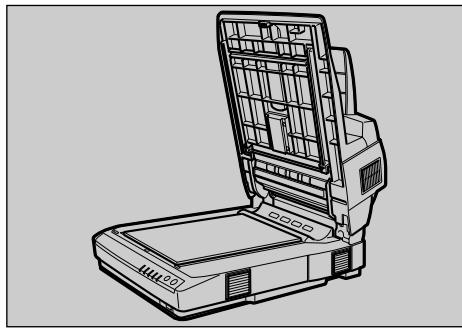
- 1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 ADFを持ち上げます。
- 3 原稿ガラス用裏当て、原稿ガラス、ADF原稿ガラス1を、クリーニングクロスや乾いたやわらかい布で空拭きしてください。



ADC051D

原稿ガラス用裏当てを外して清掃する

- 1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 ADFを持ち上げます。
- 3 原稿ガラス用の裏当てを外します。

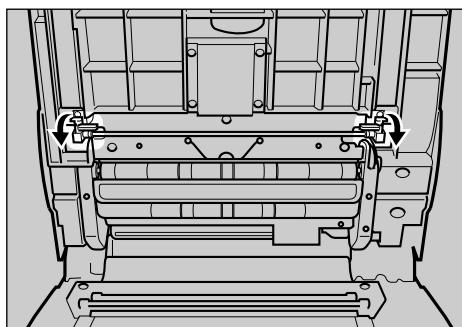


ADC053S

○ 参照

⇒ P.40 「原稿ガラス用の裏当ての色を変更する」

- 4 両手で青いレバーを回し下げます。



ADC036S

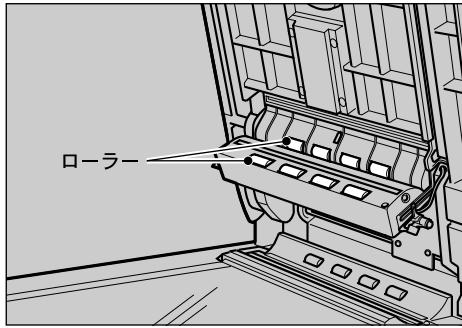
ADF用裏当て格納ボックスが引き出されます。

- 5 ADF原稿ガラス2を、クリーニングクロスや乾いたやわらかい布で空拭きしてください。



ADC052D

- 6 ローラーを水で濡らして固く絞った布で拭いてください。



ADC053D

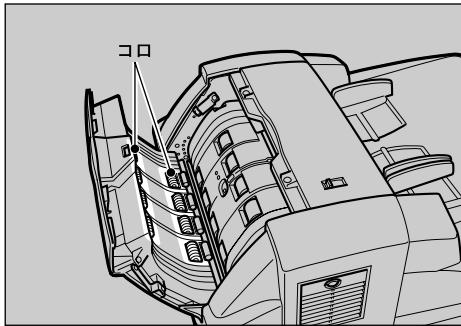
○ 参照

ADF用裏当て格納ボックスの戻し方は、P.39 「ADF用の裏当ての色を変更する」の手順5を参照してください。

原稿ガラス用裏当ての取り付け方法は、P.40 「原稿ガラス用の裏当ての色を変更する」を参照してください。

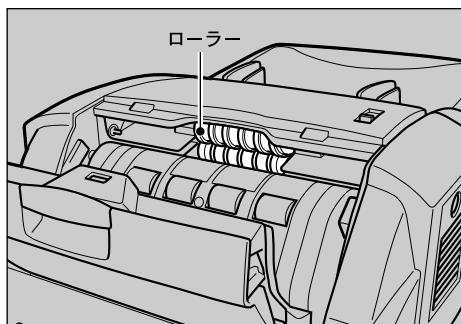
ADFカバーを開けて清掃する

- 1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 ADFのカバーを開きます。
- 3 口口を指で回しながら、水で濡らして固く絞った布で拭きます。



ADC054D

- 4 奥のローラーを指で回しながら、水で濡らして固く絞った布で拭きます。



ADC055D

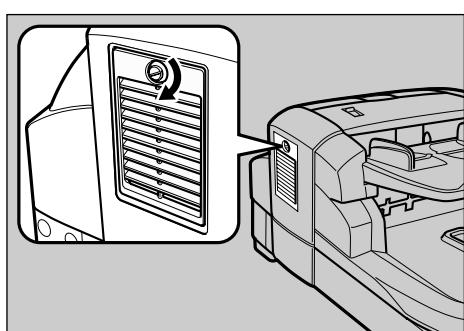
補足

- ADF カバーを閉じるときは、2つのマグネットが2つともマグネットキャッチに合わさって、きちんと閉じたことを確認してください。

通気パネルを清掃する

通気パネルと中のフィルターは、6か月ごとに清掃してください。ただし、汚れがひどいときは適宜清掃してください。

- 1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 左側面の通気パネルをコインなどで開け、中のフィルターとパネルのほこりを取り除きます。



ADC056S

移動・輸送

△注意

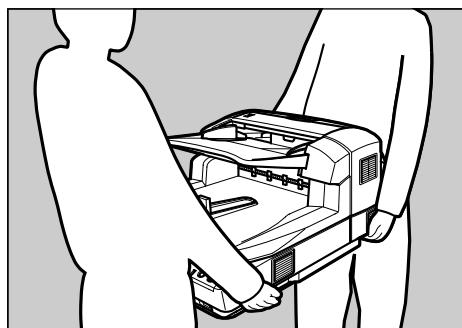


- 本機は約33kgあります。
- 本機を持ち上げるときは、2人以上で持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
- 長距離を移動するときは、サービス実施店に相談してください。

- 本機は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。日本国外に移動するときは、保守サービスの責任は負いかねます。
- また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は各国で異なります。これらの規則に違反して本製品および消耗品などを諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。
- サービス実施店にご連絡いただくと、安全に輸送できるように措置をします。ただし、梱包と輸送についてお客様で行ってください。

近くに移動するとき

- 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 本機に接続されているケーブルをすべて抜きます。
- 本機を移動します。



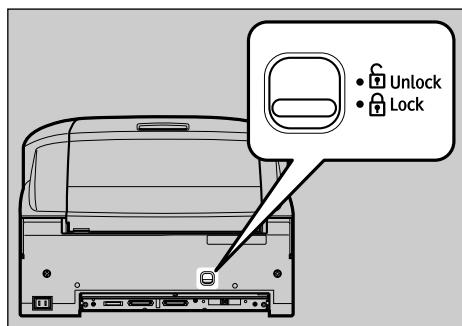
ADC057S

●重要

□ 移動するときは、なるべく水平を保ってください。

本機を輸送するとき

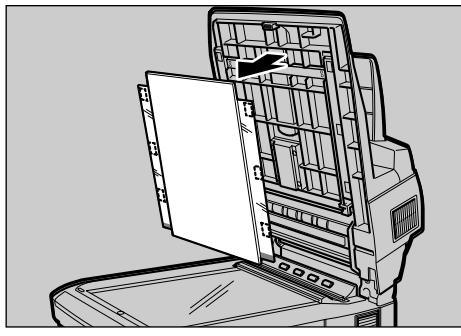
- 電源スイッチを入れて、20秒以上待ってから、切ります。
- 本体背面の固定レバーを「Lock」側にします。



ADC068S

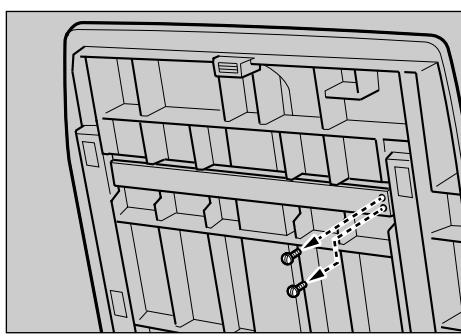
3 圧板の裏に保管していた2本の固定ネジで固定します。

① 圧板を持ち上げて、マジックテープで固定されている裏当てを静かに引っ張って外します。



ADC071S

② 圧板の裏側に保管していた固定ネジを取り出します。



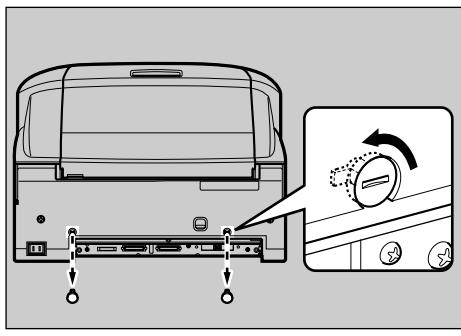
ADC085S

③ 取り外した裏当てを元に戻します。

参照

裏当ての取り付け方法は、P.40「原稿ガラス用の裏当ての色を変更する」の手順②～⑤を参照してください。

④ 固定ネジ穴を塞いでいたキャップを90度回して、取り外します。

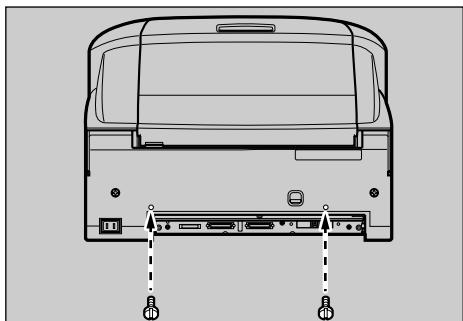


ADC087S

補足

□ 取り外したキャップは輸送先で使用しますから、袋などに入れて本体と一緒に輸送してください。

⑤ ②で取り出した固定ネジでしっかりと固定します。



ADC083S

補足

□ 固定ネジは、コインを使ってしっかりと締めてください。

④ 接続されているケーブル類を、すべて取り外します。

⑤ 本機購入時の箱に入れ、輸送します。

重要

□ 精密機械ですので、輸送時に破損しないようご注意ください。

□ 緩衝材は、ご購入時のものを使用してください。

廃棄

本機を廃棄したいときは、販売店またはサービス実施店に相談してください。

解像度、読み取り領域とデータサイズの関係

解像度と読み取り領域、データサイズは互いに次のように影響します。

- 解像度(dpi)を高く設定すると、データサイズが大きくなり、設定できる読み取り領域は小さくなります。
- 読み取り領域を大きく設定すると、データサイズが大きくなり、設定できる解像度は低くなります。

補足

- 記載したデータサイズは、画像データとして使用するメモリの容量です。ファイルに保存する場合は、ファイル形式 (BMP、JPEG、PDF、TIFFなど) によって異なります。
- データサイズが記載されていない欄の設定では、読み取りできません。
- TWAIN ドライバーで読み取れるデータサイズとアプリケーションで扱うことができるデータサイズは、異なります。アプリケーションで扱えるデータサイズについては、それぞれのアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。

「白黒2値（文字）」、「白黒2値（写真）」、「白黒2値（文字・写真）」、「白黒2値（自動濃度）」の場合

6

読み取りエリア	100dpi	200dpi	300dpi	400dpi	500dpi	600dpi	700dpi	800dpi
A3判	235	943	2,121	3,772	-	-	-	-
B4判	176	705	1,591	2,826	-	-	-	-
A4判	117	470	1,061	1,886	2,946	4,247	-	-
B5判	87	353	794	1,414	2,208	3,183	-	-
A5判	58	234	528	939	1,469	2,116	2,876	3,759
B6判	43	174	394	702	1,098	1,582	2,155	2,815
A6判	29	117	264	468	734	1,058	1,437	1,880
11×17インチ	227	913	2,051	3,652	-	-	-	-
LG 8 ¹ / ₂ ×14インチ	144	579	1,304	2,324	3,629	-	-	-
8 ¹ / ₂ ×13インチ	134	538	1,211	2,158	3,370	-	-	-
LT 8 ¹ / ₂ ×11インチ	113	455	1,024	1,826	2,852	-	-	-
5 ¹ / ₂ ×8 ¹ / ₂ インチ	56	227	512	913	1,423	2,051	2,794	3,652

数値：データサイズ（単位=KB）

「白黒256値（グレースケール）」、「カラー256色」の場合

読み取りエリア	100dpi	200dpi	300dpi	400dpi	500dpi	600dpi	700dpi	800dpi
A3判	1,888	7,552	16,993	30,210	-	-	-	-
B4判	1,416	5,664	12,744	22,656	-	-	-	-
A4判	944	3,776	8,496	15,105	23,601	33,986	-	-
B5判	708	2,832	6,372	11,328	17,700	25,488	-	-
A5判	470	1,881	4,234	7,527	11,761	16,936	23,052	30,108
B6判	352	1,410	3,173	5,642	8,815	12,694	17,278	22,568
A6判	235	940	2,117	3,763	5,880	8,468	11,526	15,054
11×17インチ	1,826	7,304	16,435	29,218	-	-	-	-
LG 8½×14インチ	1,162	4,648	10,458	18,593	29,052	-	-	-
8½×13インチ	1,079	4,316	9,711	17,265	26,977	-	-	-
LT 8½×11インチ	913	3,652	8,217	14,609	22,827	-	-	-
5½×8½インチ	456	1,826	4,108	7,304	11,413	16,435	22,370	29,218

数値：データサイズ（単位=KB）

「カラー8色」、「カラー8色（写真）」の場合

読み取りエリア	100dpi	200dpi	300dpi	400dpi	500dpi	600dpi	700dpi	800dpi
A3判	707	2,829	6,365	11,316	-	-	-	-
B4判	529	2,116	4,773	8,480	-	-	-	-
A4判	352	1,411	3,185	5,659	8,838	12,743	-	-
B5判	263	1,061	2,383	4,244	6,625	9,550	-	-
A5判	174	702	1,584	2,819	4,408	6,350	8,630	11,277
B6判	130	524	1,183	2,107	3,295	4,748	6,465	8,447
A6判	87	351	793	1,406	2,202	3,175	4,313	5,640
11×17インチ	682	2,739	6,155	10,957	-	-	-	-
LG 8½×14インチ	434	1,739	3,912	6,972	10,889	-	-	-
8½×13インチ	403	1,614	3,633	6,474	10,111	-	-	-
LT 8½×11インチ	341	1,366	3,074	5,478	8,556	-	-	-
5½×8½インチ	169	682	1,538	2,739	4,270	6,155	8,384	10,957

数値：データサイズ（単位=KB）

「カラー 1677万色」の場合

読み取りエリア	100dpi	200dpi	300dpi	400dpi	500dpi	600dpi	700dpi	800dpi
A3判	5,663	22,655	50,977	90,628	-	-	-	-
B4判	4,247	16,989	38,231	67,964	-	-	-	-
A4判	2,831	11,327	25,486	45,314	70,802	101,954	-	-
B5判	2,123	8,495	19,113	33,982	53,100	76,460	-	-
A5判	1,411	5,645	12,701	22,581	35,283	50,807	69,154	90,324
B6判	1,057	4,230	9,519	16,925	26,446	38,079	51,832	67,701
A6判	705	2,822	6,350	11,289	17,639	25,401	34,577	45,162
11×17インチ	5,478	21,914	49,306	87,656	-	-	-	-
LG 8 $\frac{1}{2}$ ×14インチ	3,486	13,945	31,376	55,781	87,158	-	-	-
8 $\frac{1}{2}$ ×13インチ	3,237	12,949	29,135	51,796	80,932	-	-	-
LT 8 $\frac{1}{2}$ ×11インチ	2,739	10,957	24,653	43,828	68,481	-	-	-
5 $\frac{1}{2}$ ×8 $\frac{1}{2}$ インチ	1,369	5,478	12,326	21,914	34,240	49,306	67,111	87,656

数値：データサイズ（単位=KB）

オプション

ここでは、本機用のオプションについて紹介します。

IS画像プロセッシングユニット タイプ760

このオプションを装着すると、TWAINドライバーを使って次のような画像処理ができます。

❖ 白黒2値(自動濃度)

文字が主体の原稿を白黒2値で読み込むときに、適切なしきい値を自動的に判別して読み取ります。「白黒2値」は中間調(グレー)部分がなく、画像の1点を白または黒で表現します。「しきい値」とは、読み込んだ1点を白として表現するか黒として表現するかを決める値です。

❖ 白黒2値(文字・写真)

文字と写真が入った原稿を読み取るときに指定します。白黒2値で読み取ますが、写真部分を自動判別して、写真部分を白と黒の網点パターンで擬似的な中間調(グレー)にします。

❖ 選択範囲

文字と写真が入った原稿を白黒2値で読み取るときに指定します。写真部分をユーザーが指定して、その範囲のみを擬似的な中間調(グレー)にできます。逆に写真が主体の原稿のときは、全体を擬似的な中間調(グレー)にして、文字部分をユーザーが指定して中間調(グレー)なしの白黒2値で読み取ることができます。全体と異なる範囲は最大4つです。

スキャナー IEEE1394ユニット タイプ760

パソコンとIEEE1394インターフェース接続が可能になります。

IEEE1394コネクターが2つありますので、標準装備のSCSIコネクターと合わせて、本機に3台のパソコンをつないでおくことができます。

● 制限

□ 標準装備のUSB2.0インターフェースボードとは排他利用になります。

◆ 捕足

□ 接続した複数のパソコンから「同時に」使用することはできません。SCSI/IEEE1394-1/IEEE1394-2接続の切り換えは自動です。

仕様

スキャナータイプ	ADF付きフラットベッド型カラースキャナー	
読み取り方式	原稿移動走査方式 (ADF)および原稿固定走査方式 (原稿ガラス) ADFは両面同時読み取り	
読み取り領域 ^{*1}	<p>❖ ADF</p> <ul style="list-style-type: none"> 片面カラー 主走査: 最大297mm、最小69mm 副走査: 最大630mm、最小90mm 片面モノクロ 主走査: 最大297mm、最小69mm 副走査: 最大2000mm、最小90mm 両面カラー・両面モノクロ 主走査: 最大297mm、最小69mm 副走査: 最大432mm、最小90mm <p>❖ 原稿ガラス</p> <ul style="list-style-type: none"> 主走査: 最大297mm、最小10mm 副走査: 最大432mm、最小10mm 	
光学解像度	主走査: 400dpi 副走査: 400dpi	
読み取り階調	入力: 各色10ビット/画素 出力: 1ビット～各色8ビット/画素	
1ラインの読み取り時間	白黒: 0.229msce/line カラー: 0.558msec/line	
ADF	読み取り時間 ^{*2}	白黒2値片面: 70ppm (A4) 白黒2値両面: 116ipm ^{*3} (A4) フルカラー片面: 38ppm (A4) フルカラー両面: 60ipm ^{*3} (A4)
	原稿給紙枚数	200枚 (A4、64g/m ² 紙)
	原稿紙厚	40～157g/m ² (35～135kg)
インターフェース	標準	SCSI-3 USB 2.0
	オプション	IEEE1394×2 (USB 2.0インターフェースと排他)
耐久性	ADF: 300万枚、原稿ガラス: 60万枚、または5年間	
使用環境	10～32°C、15～80%RH	
電源	AC100V (50/60Hz)	
消費電力	稼動時: 180W 待機時: 50W 低電力モード時: 7W	
ウォームアップタイム	最大20秒	

低電力への移行時間 低電力からの復帰時間	移行時間：15分 復帰時間：3秒以下
エネルギースター プログラム	適合
グリーン購入法	適合
大きさ	幅490mm×奥行き695mm×高さ332mm
重量	約33kg

¹ 解像度・階調により最大読み取り領域は異なります。

² 実際の読み取り時間は、PCの性能や環境により異なります。

³ ipm : images per minute

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離す。
- テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える。
- コンセントを別にする。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波ガイドライン適合品

家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠

索引

アルファベット索引

ADF 9

原稿が詰まったとき 48
セットできない原稿 35

ADFカバー 10

ADF原稿ガラス 10

ADF原稿ガラス1の清掃 55

ADF用裏当ての色の変更 39

ADF原稿ガラス2の清掃 55

DIPスイッチ 9, 12

IEEE1394インターフェースボード 17

IEEE1394接続 23

Ridoc Desk 2000 Ltのインストール 31

SCSI ID

自動設定 20
手動設定 20

SCSIコネクター 10

SCSI接続 19

SDカードコネクター 10

TWAIN 41

TWAINドライバー

主な機能一覧 45
使用手順の流れ 41
ドライバーのインストール 29
読み取り例 42

USB 2.0コネクター 10

USB接続 22

あ行

圧板 10

移動・輸送 57

インジケーター 9

エラー発生時 47

正常時 11

インストール

Ridoc Desk 2000 Lt 31

TWAIN ドライバー 29

インストール時・その他のトラブルシューティング 53

裏当ての色の変更 39

エラー

インジケーター 47

エラーメッセージと対処法 51

オプション 63

思いどおりに読み取れないとき 50

か行

解像度とデータサイズ 60

各部の名称 9

画像プロセッシングユニット 16

紙厚 33

紙厚切替レバー 9

原稿ガラス 10

原稿ガラスの清掃 55

原稿ガラス用裏当て 10

原稿ガラス用裏当ての色の変更 40

原稿ガラス用裏当ての清掃 55

原稿サイズ 33

原稿詰まりの除去 48

原稿テーブル 9

原稿テーブル異常 49

原稿のセット

原稿ガラスにセット 36

ADFにセット 36

原稿のセットのしかた 33

原稿の向き 36

固定ネジ 10

固定レバー 10

さ行

自動原稿送り装置 (ADF) **9**
自動検知サイズ **34**
自動的に読み取れる原稿サイズ **34**
終了 **44**
仕様 **64**
【スタート】キー **9**
ストッパー **9**
清掃 **54**
 ADFカバー内 **56**
 ADF原稿ガラス2 **55**
 ADF原稿ガラス1 **55**
 原稿ガラス **55**
 原稿ガラス用裏当て **55**
 通気パネル **56**
 フィードローラー **54**
 フィルター **56**
接続
 IEEE1394 **23**
 IEEE1394インターフェースボード **17**
 SCSI **19**
 USB **22**
 オプション **16**
 画像プロセッシングユニット **16**
 電源コード **24**
 パソコン **19**
設置環境 **13**
セットできる原稿のサイズと紙厚 **33**

た行

低電力モード **6**
データサイズ **60**
電源コネクター **10**
電源スイッチ **9**
電源のON/OFF **26**
電波障害 **65**
トラブルシューティング→こんなときには **47**

は行

ハードリセットスイッチ **9, 27**
廃棄 **59**
排紙テーブル **9**
パソコンとスキャナーの接続 **19**
フィードローラーの清掃 **54**
フィルターの清掃 **56**
保存 **44**

や行

読み取りにくい原稿 **35**
読み取り領域とデータサイズ **60**

ら行

【リセット】キー **9**
ロータリースイッチ **9**

MEMO



商標

- Adobe、AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
- MS®、Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

Windows OSの正式名称は以下のとおりです。

- * Windows® 95の製品名は、Microsoft® Windows® 95です。
- * Windows® 98の製品名は、Microsoft® Windows® 98です。
- * Windows® Meの製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
- * Windows® 2000の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® 2000 Professional
 - Microsoft® Windows® 2000 Server
- * Windows® XPの製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows® XP Home Edition
 - Microsoft® Windows® XP Professional
- * Windows Server™ 2003の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition
 - Microsoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition
 - Microsoft® Windows Server™ 2003 Web Edition
- * Windows NT® 4.0の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows NT® Server 4.0
 - Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0



重要

- 本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
- 本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。



おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。



株式会社リコー

東京都港区南青山1-15-5 リコービル 〒107-8544
(03) 3479-3111 (代表)

リコープリンターコールセンターimagioダイヤル

製品の操作方法に関するお問い合わせは、
「リコープリンターコールセンターimagioダイヤル」にご連絡ください。

0120-056-140
FreeDial

コールはイマジオ

- お問い合わせの誤認防止のため通話内容を記録、録音しております。
- 受付時間：9～12時、13～17時（土、日、祝日、リコーの休業日を除く）

最新スキャナードライバーおよびユーティリティ情報

最新版のスキャナードライバーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- インターネット/リコーホームページ：<http://www.ricoh.co.jp/>

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

リコーは環境に配慮し、説明書の印刷に大豆から作られたインキの使用を推進しています。
この説明書はエコマーク商品に認定された再生紙を使用し、リサイクルに配慮し製本しています。この説明書が不要になったときは、資源回収、リサイクルに出しましょう。